

会 告 目 次

会告目次	1
IPSJ カレンダー	2
研究発表会開催通知	5
第 31 回情報メディア研究会	5
第 73 回ヒューマンインタフェース研究会	5
第 113 回データベースシステム研究会	6
第 8 回デジタル・ドキュメント研究会	8
第 17 回音声言語情報処理研究会	8
第 21 回音楽情報科学研究会	9
第 46 回情報学基礎研究会	10
第 120 回自然言語処理研究会	10
第 106 回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	11
第 6 回分散システム運用技術研究会	12
第 2 回モバイルコンピューティング研究会	13
第 14 回数理モデル化と問題解決研究会	13
第 115 回ソフトウェア工学研究会	14
情報処理学会「行事」申込書	17
「オブジェクト指向 '97 シンポジウム」参加者募集	18
「次世代ボーダレスメディア '97 シンポジウム」参加者募集	20
「連続セミナー 97」参加者募集	21
第 27 回安全工学シンポジウム開催プログラム	22
「ハイパフォーマンスコンピューティング・シンポジウム (HPCS '97)」参加者募集	23
「日本語音声ディクテーション基本技術講習会」参加者募集	24
平成 9 年度電気・情報関連学会連合大会開催のご案内	25
第 30 回情報科学若手の会開催のご案内	26
「コンピュータシステム・シンポジウム」論文募集	27
「1998 年情報学シンポジウム」論文募集	28
査読制度改善のお知らせ	29
論文が採録されるまで	30
会員の皆様へのお知らせ・お願い	31
毎外からの送金方法について	32
平成 9 年度役員	38
支部だより	33
雑 報	21, 23, 25
人 材 募 集	35
会 議 案 内	16

IPSJ カレンダー

★：共催

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
第 64 回情報システム研究会	情報処理学会	平成 9 年 6 月 18 日 (水)	当日のみ	38-5 7p	研
第 44 回コンピュータと教育研究会	情報処理学会	6 月 20 日 (金)	当日のみ	38-5 7p	研
第 116 回計算機アーキテクチャ研究会	東北大	6 月 27 日 (金)	当日のみ	38-5 8p	研
オブジェクト指向 '97 シンポジウム	タイム 24 ビル	7 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)	6 月 27 日 (金)	38-6 18p	研
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DiCoMo) ワークショップ	ニセコいこいの村	7 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)	6 月 2 日 (月)	38-5 14p	研
★第 27 回安全工学シンポジウム	日本学術会議講堂	7 月 3 日 (木) ～ 4 日 (金)		38-6 22p	事
DA シンポジウム '97	ラフォーレ琵琶湖	7 月 10 日 (木) ～ 12 日 (土)	6 月 16 日 (月)	38-5 19p	研
第 31 回情報メディア研究会	東京オペラシティ	7 月 11 日 (金)	当日のみ	38-6 5p	研
第 73 回ヒューマンインタフェース研究会	電総研	7 月 11 日 (金) ～ 12 日 (土)	当日のみ	38-6 5p	研
次世代ボーダレスメディア '97 シンポジウム	早大	7 月 14 日 (月)	6 月 27 日 (金)	38-6 20p	研
★第 113 回データベースシステム研究会	ロイトン札幌	7 月 14 日 (月) ～ 16 日 (水)	当日のみ	38-6 6p	研
夏のプログラミング・シンポジウム	ホテルリステル浜 名湖	7 月 16 日 (水) ～ 18 日 (金)	6 月 15 日 (日)	38-4 35p	事
第 8 回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	7 月 18 日 (金)	当日のみ	38-6 8p	研
第 17 回音声言語情報処理研究会	いこいの村	7 月 18 日 (金) ～ 19 日 (土)	当日のみ	38-6 8p	研
コンピュータ音楽チュートリアル	京都府立ゼミナール ハウス	7 月 19 日 (土) ～ 20 日 (日)	7 月 1 日 (火)	38-5 23p	研
第 21 回音楽情報科学研究会	京都府立ゼミナール ハウス	7 月 20 日 (日) ～ 21 日 (月)	当日のみ	38-6 9p	研
第 46 回情報学基礎研究会	日本 IBM	7 月 24 日 (木)	当日のみ	38-6 10p	研
連続セミナー 97 ネットワークコンピュータ	工学院大	7 月 24 日 (木)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-6 21p	事
★第 120 回自然言語処理研究会	名大	7 月 24 日 (木) ～ 25 日 (金)	当日のみ	38-6 10p	研
第 106 回コンピュータビジョンとイメージメ ディア研究会	北大	7 月 24 日 (木) ～ 25 日 (金)	当日のみ	38-6 11p	研
第 6 回分散システム運用技術研究会	北大	7 月 25 日 (金)	当日のみ	38-6 12p	研
第 2 回モバイルコンピューティング研究会	情報処理学会	7 月 25 日 (金)	当日のみ	38-6 13p	研

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
第 14 回数理モデル化と問題解決研究会	群馬大	7 月 25 日 (金)	当日のみ	38-6 13p	研
第 115 回ソフトウェア工学研究会	日大	7 月 31 日 (木) ～ 8 月 1 日 (金)	当日のみ	38-6 14p	研
ハイパフォーマンスコンピューティング・シンポジウム (HPCS '97)	グリーンピア南阿蘇	8 月 18 日 (月)	7 月 18 日 (金)	38-6 23p	研
日本語音声ディクテーション基本技術講習会	会津大	8 月 21 日 (木) 23 日 (土)	7 月 1 日 (火) 定員になり次第	38-6 24p	研
平成 9 年電気・情報関連学会連合大会	日本学術会議講堂	8 月 22 日 (金)		38-6 25p	事
第 30 回情報科学若手の会	大学セミナーハウス	9 月 3 日 (水) ～ 5 日 (金)	7 月 31 日 (木)	38-6 26p	事
連続セミナー 97 イン트라ネットの最新動向とそれを支える技術	工学院大	9 月 19 日 (金)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-6 21p	事
情報処理学会第 55 回全国大会	福岡工大	9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)	当日可	38-4 36p	事
連続セミナー 97 ネットワークとセキュリティ	工学院大	12 月 5 日 (金)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-6 21p	事
連続セミナー 97 デジタル図書館	工学院大	平成 10 年 1 月 19 日 (月)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-6 21p	事
連続セミナー 97 データウェアハウス	工学院大	3 月 24 日 (火)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-6 21p	事

【国 際 会 議】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	照 会 先	掲載 ページ	担当
International Conference on Software Engineering (ICSE 98)	京都国際会館	平成 10 年 4 月 19 日 (日) ～ 25 日 (土)	事務局	38-4 38p	国

IPSJ KAKUKU

【論文募集】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	論文(応募)締切	掲載 ページ	担当
情報処理学会第 55 回全国大会併設国際シンポジウム	福岡工大	9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)	—	38-3 18p	事
情報処理学会第 55 回全国大会	福岡工大	9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)	—	38-3 10p	事
九州支部 電気関係学会九州支部第 50 回記念 連合大会	琉球大	10 月 3 日 (金) ～ 4 日 (土)	7 月 28 日 (月)	38-6 34p	九
コンピュータシステム・シンポジウム	東京近郊	11 月 6 日 (木) ～ 7 日 (金)	8 月 11 日 (月)	38-6 28p	研
関西支部 平成 9 年電気関係学会関西支部連 合大会	関西大	11 月 23 日 (日) ～ 24 日 (月)	8 月 23 日 (土)	38-6 33p	西
ISAAC '97	シンガポール	12 月 17 日 (水) ～ 19 日 (金)	—	38-4 37p	国
★1998 年情報学シンポジウム	日本学術会議講堂	平成 10 年 1 月 13 日 (火) ～ 14 日 (水)	9 月 5 日 (金)	38-6 29p	研
論文誌特集号 「次世代ヒューマンインタフェース・インタラ クション」	—	—	6 月 30 日 (月)	38-1 21p	編
論文誌特集号 「新世代データベース技術：インターネット・ マルチメディア・モバイルを中心として」	—	—	8 月 29 日 (金)	38-3 5p	編

【支 部】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
東北支部 平成 9 年度電気関係学会東北支部 連合大会	日大 (郡山)	8 月 26 日 (火) ～ 27 日 (水)	—	38-4 43p	東

注 1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注 2) 研究会の発表申込締切は開催日の 90 日前です。年間予定表および研究会発表申込書は 2, 4, 8 月号に掲載されています。

注 3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係,
北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

研究発表会開催通知

(平成9年7月11日～7月31日)

◆第31回 情報メディア研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 上林憲行, 幹事: 小澤英昭, 久保田晃弘, 広瀬 真)

日 時 平成9年7月11日(金) 10:00～17:00

会 場 東京オペラシティ 午前: Inter Communication Center * 10:00 ICC 入口集合
午後: 7F 第4会議室

[東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ, 京王新線: 初台下車, 徒歩1分, Tel(03)5353-0700]

議 題 小特集: テクノロジーとサブカルチャー

[10:00～12:00] 会場: Inter Communication Center * ICC 入場料として1人800円が必要となります。

(1) ネットワークと都市デザイン (ICCでの磯崎展) 一制作者の視点から

中西泰人 (東大)

[13:00～17:00] 会場: 7F 第4会議室

(2) なぜピアノの音は、響かないのか。一近代音楽における機能主義

藤枝 守

(3) 速度芸術時代のミュージアム

桂 英史 (東京造形大), 四方幸子 (キャノンアートラボ)

(4) コルセットとダイエット

岡林みどり (ポーラ文化研究所)

(5) ウォシュレットこぼれ話ー開発, 販売, 宣伝秘話ー

重岡洋昭 (東陶機器)

(6) 画像精細度の生理・心理的評価

前川督雄 (ATR), 中津良平 (ATR), 仁科エミ (メディア教育開発センター)

不破本義孝 (国際科学振興財団), 大橋 力 (ATR)

* 詳しい情報をお知りになりたい方は infomedia-ml@huee.hokudai.ac.jp あて #guide1 行のみのメールをお送りください。案内文が自動返送されます。URL: <http://infomedia.dj.kit.ac.jp>

◆第73回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 竹林洋一, 幹事: 中内 靖, 浜田 洋, 山本吉伸)

日 時 平成9年7月11日(金) 11:00～18:00

12日(土) 9:00～16:30

会 場 電子技術総合研究所 8F 会議室

[つくば市梅園1-1-4, JR(常磐線): 荒川沖下車, バス(筑波大中央行, 建築研究所行, 国土地理院行)並木2丁目下車, 徒歩10分, または, 西口よりタクシーも利用可能, 東京駅八重洲口より高速バス(つくばセンター行): 並木大橋下車, 徒歩15分, Tel(0298)58-5920 (山本), URL: <http://www.etl.go.jp/etl/People/yoshinov@etl.go.jp/ipsj/nc-tsukuba.html>]

議 題 小特集: メディアとコミュニケーション (および一般)

7月11日(金)

[11:00～12:00] ●一般

(1) 電子テキストおよびデジタルインクに対する統一的検索機能

張 スン, 中川正樹 (農工大)

(2) GUI設計の一貫性を評価するツール「GUIテストII」の提案

岡田英彦, 旭 敏之 (NEC)

[13:00～15:00] ●メディアとコミュニケーション

(3) 実験公開インクフォーマットを利用したリアルタイム手書きコミュニケーション

斎藤文彦, 中川正樹, 加藤直樹 (農工大)

(4) Elaborate Feedback Mechanisms for Improving Hypermedia Materials

樊 麗汀, 木實新一, 上林弥彦 (京大)

(5) コミュニティに応じたアドレッシングを行うメタアドレス通信の提案

池田武史, 片桐雅二, 杉村利明 (NTT)

(6) 子どもたちによるネットワークコミュニケーション構造の分析

岩山尚美, 大石和弘, 奥山鏡子 (富士通研), 上谷良一 (兵庫県立教育研修所)

[15:30～18:00] ●仮想世界とネットワークコミュニケーション

(7) ディベート「仮想ネットワーク社会に自律擬人化エージェントは必要か?」の主旨と論点

間瀬健二 (ATR), 長谷川修 (電総研)

7月12日(土)

[9:00～12:00] ●教育とネットワークコミュニケーション

(8) コミュニケーションと学びーネットワークを利用した教育実践研究からー

美馬のゆり (川村学園女子大)

[13:00～16:30] ●個人・社会とネットワークコミュニケーション

- (9) ミニシンポジウム「インターネットにおけるコミュニケーションは、そこに集まる人々にとってどのような意味を持つのか」 山下清美（専修大）、三浦麻子（阪大）、杉本 卓（東大）、野村一夫（法政大）
 * 12 日 18 : 30 より懇親会を予定しております。

◆第 113 回 データベースシステム研究会

（発表件数：60 件）

（主査：田中克己，幹事：赤間浩樹，有川正俊，原嶋秀次）

夏のデータベースワークショップ '97 北海道

日 時 平成 9 年 7 月 14 日（月）13 : 00 ~ 17 : 30
 15 日（火） 9 : 00 ~ 17 : 30
 16 日（水） 9 : 00 ~ 12 : 30

会 場 ロイトン札幌

〔北海道札幌市中央区北 1 条西 11. JR : 札幌下車，地下鉄（東西線）：西 11 丁目下車，徒歩 3 分。大通り公園近く。
 Tel(011)271-2711 URL : <http://www.daiwahouse.co.jp/royalhotels/sapporo.html>〕

議 題

7 月 14 日（月）

〔13 : 00 ~ 14 : 40〕● 1a : データモデルと質問処理

- (1) 超グラフに基づくデータモデルについて 宝珍輝尚，都司達夫（福井大）
 (2) 複合型階層 三浦孝夫，塩谷 勇（産能大）
 (3) サンプルを用いた論理式検索機構の評価 村田美友紀（八代高専），掛下哲郎（佐賀大）
 (4) 参照の導入による構造化文書とデータベースの統合操作の検討 森嶋厚行，北川博之（筑波大）

〔13 : 00 ~ 14 : 40〕● 1b : マルチメディア・コンテンツ処理 (1)

- (5) 相関係数行列の利用による視覚化対象属性選択方式 飯塚裕一，飯塚哲也，磯部成二（NTT），梶原史雄（奈良先端大）
 (6) オブジェクトの相対位置関係に基づく検索要求の視覚的記述とその処理方法 渡辺正裕，吉川正俊，植村俊亮（奈良先端大）
 (7) マルチメディアデータベース検索言語 MMQL における機能拡張機構

家富誠敏，河 信司，富井尚志，有澤 博（横浜国大）

- (8) VRML 検索エンジンの設計と実装 山田秀秋，木邑信夫（通信放送機構），上原邦昭，田中克己（神戸大）

〔14 : 50 ~ 16 : 30〕● 2a : 分散オブジェクトと OODB

- (9) CORBA 環境における分散教材データベースの検索手法 谷川 健，富士 隆（学習情報通信システム研究所），三枝武男（北海道情報大）
 (10) オブジェクト指向データベースによるイントラネットデータベースシステムの構築 安村義孝（NEC）
 (11) 動的分散システムを支援するオブジェクトアダプタの設計 山崎顕治，都司達夫，宝珍輝尚（福井大）
 (12) 出世魚の 64 ビット化とその上でのセコイア 2000 ベンチマークデータベース 王 波濤，牧之内顕文（九大）

〔14 : 50 ~ 16 : 30〕● 2b : マルチメディア・コンテンツ処理 (2)

- (13) 仮想スタジオのためのデジタル素材のオーサリングと検索 澤 扶美，河内美樹（神戸大），木俣 豊（通信放送機構），田中克己（神戸大）
 (14) 協調型処理方式に基づくメディア間同期における動的な同期情報の更新方式 端山貴也（筑波大），清木 康（慶大）
 (15) 複数の連続メディアデータを対象とした編集・統合作業を支援するデータベース処理における計算機資源割り当て方式 佐藤 聡（広島市大），清木 康（慶大）
 (16) 知識ベースの可視化機構を利用したアニメーションエディタの設計と実装

柳沢 豊，塚本昌彦，西尾章治郎（阪大）

〔16 : 40 ~ 17 : 30〕● 3a : モバイルオブジェクト

- (17) モバイルオブジェクト・システム Planet における分散永続オブジェクトの実現法について 松原克弥，加藤和彦（筑波大）
 (18) データベース移動に基づく動的複製配置法 原 隆浩，春本 要，塚本昌彦，西尾章治郎（阪大）

〔16 : 40 ~ 17 : 30〕● 3b : WWW と DB の統合

- (19) CAI 教材データベースにおける HTML 文書の統合管理 山北隆典，富士 隆（学習情報通信システム研究所），三枝武男（北海道情報大）
 (20) 図書情報の電子化と WWW サービスシステムの作成と評価－RDBMS と WWW の関係による情報サービスシステム

ムー

矢島邦昭 (仙台電波高専)

7月15日 (火)

[9:00~10:40] ●4a:高性能DB

- 21) Dynamic Load Balancing among Buses Connecting Disk Arrays 張 聖林, 掛下哲郎 (佐賀大)
- 22) トランザクション処理環境におけるアクセストレースを用いた Hot mirroring の性能解析 茂木和彦, 喜連川優 (東大)
- 23) 共有メモリマルチプロセッサ上でのトランスポートファイルを用いた並列関係問合せ処理 武藤精吾, 田村孝之, 中野美由紀, 喜連川優 (東大)
- 24) 分散共有メモリ計算機における並列ハッシュ結合演算処理方式の設計と実装 今井洋臣, 中野美由紀, 喜連川優 (東大)

[9:00~10:40] ●4b:類似検索

- 25) 画像内オブジェクトの自動抽出を使った画像検索システム ExSight -写真(PhotoDisk)への適用- 赤間浩樹, 紺谷精一, 三井一能, 串間和彦 (NTT)
- 26) クラスタ数自動判定クラスタリングを用いた画像からのオブジェクト抽出 紺谷精一, 赤間浩樹, 三井一能, 串間和彦 (NTT)
- 27) 画像内容検索のための多次元特徴量ベクトルデータ高速アクセス法 Katherine Curtis, 谷口展郎, 中川純一, 山室雅司 (NTT)
- 28) 映像自己組織化機構に基づく内容記述と類似シーン検索 波多野賢治, 亀井俊之, 田中克己 (神戸大)

[10:50~12:30] ●5a:質問処理と物理データ構造

- 29) アクティブデータベースにおける最適化を考慮したルール管理 宮崎 純, 横田治夫 (北陸先端大)
- 30) 永続キャッシュ技術を用いた拡張可能ハッシュのインデックス性能の向上について 清水 晃, 加藤和彦 (筑波大)
- 31) 高速テキスト検索のためのパトリシアトライ構造化シグネチャファイル 権藤夏男, 金子邦彦, 牧之内顕文 (九大)
- 32) ビューを用いたデータベース圧縮手法 春本 要, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)

[10:50~12:30] ●5b:ビデオDB

- 33) ストーリの内容記述に基づく映像の検索と要約 堀内直明, 上原邦昭 (神戸大)
- 34) 断片的な内容記述とカメラワークによるビデオ映像検索 是津耕司 (通信放送機構), 上原邦昭, 田中克己 (神戸大)
- 35) 分散映像監視システムにおける3次元モデル運動ユーザインタフェースに関する一検討 秦 淑彦, 塚田晶宇, 尾崎 稔, 坊 覚 (三菱電機)
- 36) 並列環境における投機的実行を用いたビデオデータベース格納可能容量の拡大 高山 毅, 弘中哲夫, 藤野清次 (広島市大)

[14:00~15:40] ●6a:情報検索とデータマイニング

- 37) データマイニングのキーワード検索に対する応用 陳 漢雄 (つくば国際大), 劉 野, 大保信夫 (筑波大)
- 38) 分類階層を考慮した相関ルール抽出の並列処理方式における負荷制御手法 新谷隆彦, 喜連川優 (東大)
- 39) 文献二次情報データベースにおける検索支援 川原 稔, 河野浩之 (京大)
- 40) 意味の数学モデルによる意味的連想検索の高速化アルゴリズム 宮原隆行 (筑波大), 清木 康 (慶大), 北川高嗣 (筑波大)

[14:00~15:40] ●6b:放送とDB

- 41) ハイパーテキスト間のデータ共有を考慮した放送型情報提供方式 石川裕治, 田辺雅則, 箱守 聡, 井上 潮 (NTT データ)
- 42) 放送型情報提供システムにおけるキャッシュ管理方式 井上 潮, 石川裕治, 田辺雅則, 箱守 聡 (NTT データ)
- 43) 情報放送のための超大規模分散データベースシステム 飯沢篤志, 浅田一繁, 白田由香利 (次世代情報放送システム研究所)
- 44) 情報放送システム上での並列実行制御方式の考察 白田由香利, 飯沢篤志 (次世代情報放送システム研究所)

[16:00~17:30] ●パネル討論

7月16日 (水)

[9:00~10:40] ●7a:半構造DBと情報フィルタリング

- 45) 防災通信ネットワークにおける時空間型マルチメディアデータベースの実装評価について 西村知也, 中田幸男 (通信放送機構), 田中克己 (神戸大)
- 46) グラフ構造を持つデータのカット分割に基づく検索 水内祥晃, 田島敬史, 田中克己 (神戸大)
- 47) 対話型知識構成によるインターネットからの情報フィルタリング 堀井則彰, 上原邦昭 (神戸大)

(48) Querying Structured Documents with Object Links

Hiroyuki Kato, Masatoshi Yoshikawa, Shunsuke Uemura (NAIST)

[9 : 00 ~ 10 : 40] ● 7b : 仮想空間と協調作業

(49) 領域定義による共有仮想空間内での情報交換支援

石川正敏 (奈良先端大), 高倉弘喜 (京大), 植村俊亮 (奈良先端大)

(50) 実空間と仮想空間を統合するコミュニケーション支援システムにおけるユーザインタフェースの設計と実装

坂根 裕, 小川剛史, 柳沢 豊, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)

(51) バージョンフロー・モデルを用いた設計プロセス管理について

松尾博基, 大久保将也, 岩井原瑞穂 (九大)

(52) 広域型グループウェアのためのアクティブ掲示板とワークフロー連動機能

前田雅郎 (通信放送機構)

[10 : 50 ~ 12 : 30] ● 8a : エージェント

(53) QUIK メディエータにおけるオブジェクト再考

横田一正 (岡山県立大), 萬 上裕, 黒田 崇 (京大), 国島文生 (奈良先端大)

(54) アクティブデータベース上の拡張メディエータ言語

小西 修, 稲森真二郎, 中田優作 (高知大)

(55) 協調的マルチメディア情報収集法

小西 修, 仲川亜希, 保木大典, 片山幸治 (高知大)

(56) メイリング支援システム ASK メールの構造について

石倉賢三, 伊藤秀昭, 伊藤 誠, 福村晃夫 (中京大)

[10 : 50 ~ 12 : 30] ● 8b : 時空間 DB

(57) 時空間データベースシステム Hawks における時空間質問の表現

黒木 進, 石塚健作, 牧之内顕文 (九大)

(58) 4 次元時空間データベースのためのブロックデータモデルとその実現

増永良文 (情報大)

(59) ウォークスルーに基づく VRML 空間データベースの問い合わせ処理

川勝健司, 田島敬史, 田中克己 (神戸大)

(60) 工場作業データベースにおける時空間仮想オブジェクトの設計

今井さやか, 小林みな子, 舩谷和幸, 有澤 博 (横浜国大)

* 電子情報通信学会 (データ工学研究会) と共催。ACM SIGMOD 日本支部協賛。

* 15 日 18 : 30 から懇親会を予定しています。

◆第 8 回 デジタル・ドキュメント研究会

(発表件数 : 3 件)

(主査 : 山田尚勇, 幹事 : 絹川博之, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成 9 年 7 月 18 日 (金) 13 : 30 ~ 17 : 00

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F. JR (山手線, 京浜東北線) : 田町 (東口) 下車, 徒歩 7 分. または地下鉄 (浅草線, 三田線) : 三田下車, 徒歩 10 分. Tel(03)5484-3535]

議 題

(1) 空白領域に着目した文書画像の分割法と, その識別法

浦田敏道 (エム研/通信総研), 井上 彰 (エム研), 海老名毅, 猪木誠二 (通信総研)

(2) インターネットを翻訳に活用する

安藤 進 (青山学院大)

(3) 電子マニュアルの利用実態について

綿井雅康 (文教大)

* 日本工業技術振興協会 (デジタルドキュメント研究部会) と共催。

◆第 17 回 音声言語情報処理研究会

(発表件数 : 20 件)

(主査 : 中川聖一, 幹事 : 岡田美智男, 小林哲則, 畑岡信夫)

日 時 平成 9 年 7 月 18 日 (金) 13 : 00 ~ 21 : 30

19 日 (土) 9 : 00 ~ 16 : 30

会 場 いこいの村 ハケ岳

[山梨県北巨摩郡小淵沢町上ノ原 3989-1. JR 小淵沢駅より送迎バスで 10 分. Tel(0551)36-3881]

議 題 テーマ : 自然な発話の解析, 理解, 生成および音声対話システム

7 月 18 日 (金)

[13 : 00 ~ 17 : 30]

(1) アイコンタクト機能を有する複数ユーザとの対話ロボット

肥田木康明, 益満 健, 中野裕一郎, 小林紀彦, 山岸則明, 大久保修司, 春山 智, 小林 隆, 小林哲則 (早大)

(2) 対話調整の表出における韻律的特徴の分析

田本真詞, 川端 豪 (NTT)

(3) 音声対話における属性情報・認識誤りフィードバックの効果

北井幹雄, 相川清明 (NTT)

(4) 意味的類似性を用いた後処理的な音声認識正解部分特定法と音声翻訳手法への応用

脇田由実, 河井 淳, 飯田 仁 (ATR)

- (5) 実作業に伴う対機械対話収集実験 酒寄哲也, 望主雅子, 小島裕一, 佐藤奈穂子 (リコー)
 (6) 実作業に伴う対機械対話の発話現象 望主雅子, 酒寄哲也, 佐藤奈穂子, 小島裕一 (リコー)
 (7) 雑談の構成的な理解に向けて 岡田美智男, 鈴木紀子, 石井和夫, Edward Altman (ATR)
[20 : 00 ~ 21 : 30]
 (8) 招待講演: サイバー・スペースにおける人間行動 吉田敦也 (京工繊大)
 (9) おもしろ音声サービスって何やろ!? - 音声サービスに求められる課題について - (ポジションペーパー)
 天白成一, 橋本雅行, 傍島康雄 (アルカディア), 小川 均 (立命館大)

7月19日(土)

[9 : 00 ~ 12 : 00]

- (10) 音声入出力を利用した視覚障害者向け Web Reader の研究 浅川智恵子 (日本 IBM)
 (11) 漫才の生成とその創発的計算 石井和夫, 鈴木紀子, 岡田美智男, Nick Campbell (ATR)
 (12) 様々な音声表現を実現できる音声作成ツール SPEED97 - 阿部匡伸, 水野秀之, 中嶋信弥 (NTT)
 (13) 表現力豊かな合成音声を生産するための記述言語 MSCL の構想 水野 理, 中嶋信弥 (NTT)
 (14) 規則合成音声で躍動感を実現する方略について 篠崎 翼, 阿部匡伸 (NTT)
[13 : 00 ~ 16 : 30]
 (15) 東芝の音声認識・合成ソフトウェアの紹介 (ポジションペーパー) 松浦 博, 正井康之, 田中新一, 原 義幸
 志賀芳則, 桃崎浩平, 新田恒雄, 赤嶺政巳, 籠島岳彦, 土谷勝美, 金澤博史, 瀬戸重宣, 太田治徳, 鈴木孝子 (東芝)
 (16) 高音質 LPC 分析残差駆動合成器 赤嶺政巳, 籠嶋岳彦, 土屋勝美 (東芝)
 (17) 言語情報と非言語情報を利用した基本周波数制御の新技术
 森山高明, 小川 均 (立命館大), 天白成一, 橋本雅行 (アルカディア)

- (18) 言語情報を考慮したアクセント型推定手法
 蜂谷雅弘, 森山高明, 小川 均 (立命館大), 橋本雅行, 天白成一 (アルカディア)
 (19) Processing a Speech Corpus for CHATR Synthesis Nick Campbell (ATR)
 (20) 音声入出力, タッチジェスチャ入力, およびエージェント CG 出力を持つマルチモーダル対話試作システム

- 知野哲朗, 河野恭之, 屋野武秀, 池田朋男, 鈴木 薫, 金沢博史 (東芝)
 * 今回の研究会は宿泊形式で行います。研究会に参加を希望される方は、平成9年6月25日(水)までに、参加者氏名、所属、連絡先(住所, Tel, Fax, e-mail)をご記入のうえ、下記担当幹事宛に e-mail または Fax で直接お申込みください。(宿泊および懇親会費用として、13,000 円を予定。)
 * 照会/申込先: 岡田美智男 (ATR 知能映像通信研究所) e-mail: okada@mic.atr.co.jp Tel(0774)95-1481 Fax(0774)95-1408

◆第21回 音楽情報科学研究会

(発表件数: 10 件)

(主査: 平賀 譲, 幹事: 松島俊明, 村尾忠廣, 葉 孝之)

日 時 平成9年7月20日(日) 13 : 30 ~ 17 : 30

21日(月) 9 : 00 ~ 15 : 00

会 場 京都府立ゼミナールハウス (2号ゼミ室, 総合ゼミ室)

[京都府北桑田郡京北町下中, 京都駅から JR バス (ゼミナールハウス行, 鳥谷行): 京北病院前下車, 徒歩5分。]

URL : http://www.brl.ntt.co.jp/people/hirata/ss97_seminarhouse.html. Tel(0771)54-0216]

議 題

7月20日(日)

[13 : 30 ~ 15 : 30]

- (1) 演奏表現に関する楽曲の特徴抽出システムの作成
 関本陽子, 野池賢二, 野瀬 隆, 乾 伸雄, 小谷善行, 西村恕彦 (農工大)
 (2) 事例ベースの演奏表情生成手法に関する研究 鈴木泰山, 徳永健伸, 田中穂積 (東工大)
 (3) RMCP: Remote Media Control Protocol - 時間管理機能の拡張と遅延を考慮した遠隔地間の合奏 -
 後藤真孝, 根山 亮, 菊地淑晃, 村岡洋一 (早大)

[15 : 30 ~ 17 : 30] ●ワークショップ

- (4) なぜ作曲にコンピュータを使うのか 司会: 中村滋延 (京都芸術短大)
 パネリスト: 上原和夫 (大阪芸大), 長嶋洋一 (LIST), 三輪真弘 (IAMAS), 葉 孝之 (国立音大)

7月21日(月)

[9 : 00 ~ 12 : 00]

- (5) "Improvisation": ネットワークを利用した即興セッション演奏支援システム
 長嶋洋一 (LIST / 神戸山手女子短大), 中村文隆 (神戸山手女子短大)

片寄晴弘 (LIST / 和歌山大), 井口征士 (阪大)

(6) アコースティックピアノを用いたセッションシステムの開発

青野裕司 (阪大), 片寄晴弘 (LIST / 和歌山大), 井口征士 (阪大)

(7) HMM とファジィを使った指揮認識システム

宇佐聡史 (工学院大 / ヤマハ), 持田康典 (工学院大)

(8) 音楽音響信号を対象としたビートトラッキングシステム

一小節線の検出と打楽器音の有無に応じた音楽的知識の選択

後藤真孝, 村岡洋一 (早大)

[13 : 00 ~ 15 : 00]

(9) バンドライクなインタラクティブ作曲支援システム

高柳 剛 (阪大), 片寄晴弘 (LIST / 和歌山大), 井口征士 (阪大)

(10) 音楽記述言語 PMML の概要

西村 憲 (会津大)

(11) 雨滴の落下分布モデルに基づく雨音の生成

岡野真一 (阪大), 片寄晴弘 (LIST / 和歌山大), 井口征士 (阪大)

* 宿泊等問合先: 中村滋延 (京都芸術短大) e-mail:nakmra50@mbox.kyoto-inet.or.jp Tel&Fax(0726)81-4905 (自宅), Tel&Fax(075)791-7176 (京都芸術短大)

* 19 日 ~ 20 日に併設チュートリアルを開催します (5 月号会告欄参照)。また, 20 日研究会終了後 (18 : 00 ~ 20 : 00) に懇親会を予定しております。いずれも奮ってご参加ください。

◆第 46 回 情報学基礎研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 中川 優, 幹事: 木本晴夫, 中谷多哉子, 三池誠司)

日 時 平成 9 年 7 月 24 日 (木) 13 : 00 ~ 17 : 30

会 場 日本アイ・ビー・エム 大和事業所 A 館オーデトリウム

[大和市内下鶴間 1623-14. 東急田園都市線: つきみ野下車, 徒歩 10 分。または小田急江ノ島線 / 東急田園都市線: 中央林間下車, 徒歩 10 分。Tel(0462)73-4563 (野美山浩)]

議 題 小特集: データマイニング, 情報識別, 分類

(1) 表形式データの情報論的検討

古閑 政 (九州東海大)

(2) 領域および区間分割を用いた決定木の作成

森本康彦, 福田剛志, 森下真一, 徳山 豪 (日本 IBM)

(3) 数値データからの直交凸領域の結合ルール発見

依田邦和 (日本 IBM)

(4) Classification of Materials by Atomic Environment

陳 迎 (JST), 岩田修一 (東大)

(5) Approach to crystallographic data mining for the material design

Kotliarov Iouri, 岩田修一 (東大)

(6) データマイニングツール KINO について

月本 洋, 森田千絵 (東芝)

(7) 雑誌記事索引データベースのナビゲーション「問答」による分析

河野浩之, 川原 稔 (京大)

* 会場の警備の都合により, 参加される方は前日までに野美山 (Fax(0462)73-7413, または e-mail:nomiyama@trl.ibm.co.jp) までご連絡ください。折り返し会場の案内を差し上げます。

◆第 120 回 自然言語処理研究会

(発表件数: 22 件)

(主査: 新田義彦, 幹事: 田中裕一, 丹羽芳樹, 久光 徹)

日 時 平成 9 年 7 月 24 日 (木) 9 : 45 ~ 16 : 45

25 日 (金) 9 : 45 ~ 16 : 45

会 場 名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 3F ベンチャーホール

[名古屋市千種区不老町。地下鉄 (東山線): 本山下車, 徒歩 15 分。Tel(052)789-5144 (佐川雄二)]

議 題

7 月 24 日 (木)

[9 : 45 ~ 11 : 45] ●翻訳

(1) 派生文法に基づく日本語-ウイグル語機械翻訳-動詞接尾辞の変換

小川泰弘 (名大), ムフタル・マフスット (三重大), 外山勝彦 (中京大), 稲垣康善 (名大)

(2) 機械翻訳における事例を用いた多義語の訳語選択手法

水野秀紀 (北大), 荒木健治 (北海学園大), 宮永喜一, 柄内香次 (北大)

(3) Method for searching the best-matching sentence in example-based machine translation.

ANDRIAMANANKASINA Tantely (北大), 荒木健治 (北海学園大), 宮永喜一, 柄内香次 (北大)

(4) スーパー関数に基づく多言語機械翻訳

任 福繼 (広島市立大)

[12 : 45 ~ 14 : 15] ●翻訳用辞書

(5) 日英機械翻訳のための意味属性体系

宮崎正弘 (新潟大), 池原 悟 (鳥取大), 横尾昭男, 白井 諭 (NTT)

(6) 日英機械翻訳のための単語辞書

横尾昭男 (NTT), 宮崎正弘 (新潟大)

池原 悟 (鳥取大), 白井 諭 (NTT), 阿部さつき (NTT アドバンステクノロジー)

(7) 日英機械翻訳のための構文辞書

白井 諭, 横尾昭男, 中岩浩巳 (NTT), 池原 悟 (鳥取大), 宮崎正弘 (新潟大)

[14 : 45 ~ 16 : 45] ●言語モデル

(8) シソーラスと統計情報を統合した単語の類似度計算について 藤井 敦, 徳永健伸, 田中穂積 (東工大)

(9) 係り受け構造を持つ表現に対する類似度判定手法の提案とその評価 永松健司, 田中英彦 (東大)

(10) 係り受け関係を用いた副詞の分類と分類要素についての実験的評価 乾 伸雄, 小谷善行, 西村恕彦 (農工大)

(11) 英語複文の構文解析と編集, その論理と方法

加藤輝政, 小川 清 (名古屋市工業研究所), 佐良木昌 (佐良木技術翻訳事務所/福岡大)

7月25日 (金)

[9 : 45 ~ 11 : 45] ●テキスト処理

(12) 人間の重要文判定に基づいた自動要約の試み 野本忠司 (日立), 松本裕治 (奈良先端大)

(13) 複数文章の融合 柴田昇吾, 上田隆也, 池田裕治 (キヤノン)

(14) 文字種切り出しと複合語分解によるキーワード抽出 下畑光夫, 杉尾俊之 (沖電気)

(15) 誤り駆動型学習とシソーラスを用いた文書自動分類 山崎毅文 (NTT), Ido Dagan (Bar Ilan Univ.)

[12 : 45 ~ 14 : 45] ●知識獲得

(16) 人名辞書から名前読み規則を抽出する試み 増田恵子, 梅村恭司 (豊橋技科大)

(17) シソーラスへの未登録語の自動登録 中山拓也, 松本裕治 (奈良先端大)

(18) Automatic alignment of bilingual corpora using cross-language information retrieval

Nigel Collier, 熊野 明, 平川秀樹 (東芝)

(19) AIDA : コーパスを利用した適応的辞書環境

春野雅彦 (NTT)

[15 : 15 ~ 16 : 45] ●一般

(20) 既存の和語動詞の格フレームを利用したサ変動詞の格フレーム獲得 橋本順子, 峯 恒憲, 雨宮真人 (九大)

(21) 意味ネットワークからの文章生成 尾崎正太郎, 黒橋慎夫, 長尾 真 (京大)

(22) 知識ベースに基づく点字翻訳のための日本語文節区切り手法

鈴木恵美子 (筑波女子大), 小野智司, 平岡大樹, 狩野 均, 西原清一 (筑波大)

*電子情報通信学会 (言語理解とコミュニケーション研究会) と共催。

◆第106回 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

(発表件数: 26 件)

(主査: 長谷川純一, 幹事: 喜多伸之, 美濃導彦, 森島繁生)

日 時 平成9年7月24日 (木) 10 : 00 ~ 18 : 00

25日 (金) 9 : 00 ~ 16 : 30 * 25日午前のみ2会場

会 場 北海道大学 工学部 110, 111 教室 (工学部正面玄関入って左側)

[札幌市北区北13条西8丁目。地下鉄 (南北線) : 北12条下車, 徒歩15分。JR 札幌駅からタクシーで10分 (1000円) 程度。Tel&Fax(011)706-6436 (金子俊一)]

議 題

7月24日 (木)

[10 : 00 ~ 12 : 00]

(1) 2混合ガウス分布のもとづくアダプティブな2値化法 中村英司 (東邦大), 塩 昭夫 (NTT), 金子 博 (東邦大)

(2) プレゼンテーションのための実写映像ハンドリング 山口敬人, 戸田真志, 川嶋稔夫, 青木由直 (北大)

(3) ビルのシルエットと地図データベースを用いた市街地シーンの認識

劉 佩林, 呉 イ, 池内克史, 坂内正夫 (東大)

(4) デフォルメ地図自動生成のための並列型道路変形手法の提案とその実験的評価

山本輝俊, 長谷川純一 (中京大), 梶田健史, 山守一徳 (沖テクノシステムズラボラトリ)

[13 : 30 ~ 18 : 00]

(5) 招待講演: インターネットを使う CG アプリケーションー Signboard Factory と LiveText ー (口頭発表のみ)

山本 強 (北大)

(6) 透視投影条件の下での因子分解法による多視点画像からの形状復元

出口光一郎 (東大)

(7) アフィンカメラ補正による三次元位置の線形推定法

木下敬介, Zhengyou Zhang (ATR)

(8) ステレオ画像からのアフィン座標系に基づく任意視点からの見え方生成の検討

Kuntal Sengupta, 坂口竜己, 大谷 淳 (ATR)

(9) 見学 (16 : 30 ~ 18 : 00) : 情報工学科川嶋研究室, システム工学科金子研究室

7 月 25 日 (金)

[9 : 00 ~ 12 : 15] ● A 会場

- (10) Apollonius 球による画像原点の推定 加藤晃市, 酒井 洋, 奥平雅士 (NTT)
- (11) 距離関数を用いた未知視点から得た複数の距離画像の重ね合わせ手法 清水郁子, 出口光一郎 (東大)
- (12) Euclidean Structure from Uncalibrated Images Using Fuzzy Domain Knowledge: Application to Facial Images Synthesis Zhengyou Zhang (ATR / INRIA), 磯野勝宣 (ATR), 赤松 茂 (ATR)
- (13) 形状行列からの特徴選択に基づく動きの分割
市村直幸 (電総研), 石山 豊 (スタンレー電気技術研究所), 角 保志, 富田文明 (電総研)
- (14) サインスリットによる時空間画像からの 3D 直線の抽出 汪 平涛, 池内克史, 坂内正夫 (東大)
- (15) Determining Optical Flow under Non-uniform Illumination 張 林, 原 貴史, 三池秀敏 (山口大)

[9 : 00 ~ 12 : 15] ● B 会場

- (16) 緩やかな制約知識を利用した単眼視動画画像からの関節物体の形状推定 島田伸敬, 白井良明 (阪大)
- (17) 動作のスポッティングによるシーン検索 館山公一, 川嶋稔夫, 青木由直 (北大)
- (18) 団体球技のゲーム分析のための集团的動き特徴量とその応用 松本貴之, 瀧 剛志, 長谷川純一 (中京大)
- (19) 実写融合と形状変形の適応的選択による 3 次元顔表情生成 田中弘美, 小野一義, 足立裕昭, 石澤 彰 (立命館大)
- (20) 統計的手法を用いた様々な背景からの顔領域の抽出 堀 修 (東芝)
- (21) 似顔絵作成における髪領域抽出および髪型選択 田畑尚弘, 細井 聖, 秋間正道, 川出雅人 (オムロン)
- [13 : 30 ~ 16 : 30]
- (22) 両眼立体視による視覚のモデル化と形状認識 宇野公裕, 三池秀敏 (山口大)
- (23) 立体表示された仮想物体に対する知覚位置補正について
吉田俊介, 宮崎慎也, 長谷川純一, 福村晃夫 (中京大), 星野俊仁, 大関 徹 (トヨタ自動車)
- (24) 物体認識のための能動的視点および解像度の制御 守田 了 (山口大)
- (25) パラメトリックテンプレート法とそのサブピクセルマッチングへの応用 田中弘一, 大原秀一, 奥平雅士 (NTT)
- (26) 等濃度曲線を利用する Global Shape from Shading のための特異点分類の一手法 岡谷貴之, 出口光一郎 (東大)
- (27) 一次元プロセッサアレイに基づくリアルタイム画像処理システムの開発環境
許 昭倫 (NEC), 佐藤 完 (NEC 情報システムズ), 岡崎信一郎, 藤田善弘 (NEC)

* 24 日の見学終了後, 懇親会を開催します。

◆第 6 回 分散システム運用技術研究会

(発表件数: 17 件)

(主査: 林 英輔, 幹事: 岩原正吉, 箱崎勝也, 堀越 彌)

日 時 平成 9 年 7 月 25 日 (金) 9 : 00 ~ 18 : 45

会 場 北海道大学 学術交流会館 第 3 会議室

[札幌市北区北八条西 5 北海道大学構内. JR : 札幌 (北口) 下車. 徒歩 10 分. 正門入り, 50m 先左側の建物.
Tel(011)706-2946 (山本)]

議 題

[9 : 00 ~ 12 : 00]

- (1) Ad Hoc 型ワークフローシステムの設計 申 健翔, 金井秀明, 箱崎勝也, 速水治夫 (電通大)
- (2) ネットワーク情報の協調管理のための作業分析
辻 貴孝, 脇山俊一郎 (仙台電波高専), 樋地正浩 (東北インターネット協議会)
- (3) システム管理者が離散した状況下におけるシステム管理手法 大野浩之 (東工大)
- (4) コミュニティインターネットの相互接続実験
菅野浩徳 (富士通東北システムエンジニアリング/東北インターネット協議会)
樋地正浩 (東北インターネット協議会), 布川博士 (宮城教育大)
- (5) 小さなコミュニティを対象にした統合デジタル出版の実験 布川博士 (宮城教育大)
伊藤 努 (ソニーマグネプロダクツ), 水野晋一 (インタークラフト), 菊地 淳 (針生印刷)
- (6) 分散イメージデータを用いた VRML による仮想図書館システムの構築 石川克則, 金井秀明, 箱崎勝也 (電通大)
- [13 : 00 ~ 18 : 45]
- (7) 分散オブジェクトプラットフォーム上に構築したネットワーク管理システムの評価
藤崎智宏, 蔭山克禎, 浜田雅樹 (NTT)
- (8) 経路情報の視覚化によるネットワーク管理 池田誠二, 金井秀明, 箱崎勝也 (電通大)
- (9) 広域ネットワークにおける経路の監視/管理方法

- 高村真俊 (奈良先端大), 多田卓央 (シャープ), 門林雄基 (阪大)
- (10) インターネット QoS ビジュアライザを用いた遅延とジッターの測定 福田晴元, 小野 諭 (NTT)
- (11) 多人数教育用計算機環境におけるシステム管理の省力化の一方法
齊藤明紀, 中西通雄, 安留誠吾, 重弘裕二, 西田知博 (阪大), 馬場健一 (高知工科大)
安倍広多, 松浦敏雄 (大阪市立大)
- (12) ダイアルアップ接続システムの構築と運用 相原玲二, 吉田朋彦 (広島大)
- (13) 電子メールシステムと VINES デイレクトリサーバとの連携方式 伊藤 勉, 廣澤敏夫 (日立)
- (14) Macintosh と UNIX マシンを併用した情報処理教育環境の構築
前田香織, 大迫 誠, 神下令児, 河野英太郎 (広島市立大)
- (15) 一般情報処理教育用システムにおける利用者情報の管理について
齋宮充裕, 下園幸一, 古川善吾, 牛島和夫 (九大)
- (16) 管理の容易な広域分散ファイルシステム
中吉 功, 山井成良 (阪大), 松浦敏雄, 安倍広多 (大阪市立大), 村上孝三 (阪大)
- (17) LiveText : データ放送を意識した Push 型情報表現システム開発 山本 強 (北大)

◆第 2 回 モーバイルコンピューティング研究会

(発表件数: 13 件)

(主査: 水野忠則, 幹事: 小橋喜嗣, 寺岡文男, 渡辺 尚)

日 時 平成 9 年 7 月 25 日 (金) 9:30 ~ 17:30

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

議 題

[9:30 ~ 11:30]

- (1) イントラネット対応所在検知システム VisualTrek の開発 瀧野 修, 村垣 徹 (NTT)
- (2) 位置情報ブローカの提案とそのアーキテクチャ 丹 康雄, 日比野靖 (北陸先端大)
- (3) ユーエージェントを用いたショッピングサービスのモデル化について
松下大輔, 隆 朋也, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
- (4) モーバイル通信サービス環境下でのユーザの振舞いの解析 - ICMAS '96 Mobile Assistant Project -
西部喜康, 和気弘明, 森原一郎, 服部文夫 (NTT)

[12:30 ~ 17:30]

- (5) モーバイル IP 相互接続実験の報告 津田悦幸, 福本 淳, 井上 淳 (東芝)
- (6) ATM インターネットにおけるプラグアンドプレイ環境の構築 新本真史 (奈良先端大)
- (7) 双方向無線通信カードによる移动通信基本アクセスシステムの提案 長谷良裕, 岡田和則, Gang Wu (通信総研)
- (8) VIP による IP ローミングの実現手法 藤田 謙, 小林和真, 山口 英 (奈良先端大)
- (9) 携帯型端末における遠隔協調画像作業システムの開発 永田 宏, 水島 洋, 中川晋一 (国立がんセンター)
- (10) 携帯情報端末を用いた看護支援システムのプロトタイプ開発
助田浩子, 佐々木元, 松尾仁司 (日立), 岡 裕爾 (日立総合病院)
- (11) WWW を用いた携帯端末からの家電製品制御 木村朝子, 加藤博一, 井口征士 (阪大)
- (12) モバイルプロキシーサーバシステムの試作
辻順一郎, 小津浩直, 三浦敦史, 滝沢直樹 (三菱電機), 水野忠則 (静岡大)
- (13) 蓄積型モバイル電子会議システムにおける情報抽出・参照方式 山田善大, 太田 賢, 水野忠則 (静岡大)

◆第 14 回 数理モデル化と問題解決研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 中森真理雄, 幹事: 城 和貴, 白石洋一, 古瀬慶博)

日 時 平成 9 年 7 月 25 日 (金) 13:00 ~ 16:15

会 場 群馬大学 工学部 情報工学科 メディアルーム

[桐生市天神町 1-5-1. JR (両毛線): 桐生 (北口) 下車, 本町 5 丁目バス停 (徒歩約 10 分) から東武バス (桐生天神町行または桐生女子高行): 群大前下車 (約 10 分). または東武桐生線: 新桐生下車, 駅前から東武バス (桐生天神町行または桐生女子高行): 群大前下車 (約 25 分). Tel(0277)30-1854 (白石), URL: <http://www.educ.cs.gunma-u.ac.jp/>]

議 題

- (1) 招待講演: 線形計画法を用いた非線形方程式の全解探索法 山村清隆 (群馬大)
- (2) 多数台持ち運転計画問題のジョブショップスケジューリングによる解法

岡崎 司, 伊藤俊明, 齋藤 信, 高瀬 洋 (日立東北ソフトウェア)

(3) 類似品種分類法を用いたプリント基板実装装置のパーツフィード配置手法

岡崎 司, 伊藤俊明, 齋藤 信, 高瀬 洋 (日立東北ソフトウェア)

(4) 完全二部グラフの同型因子分解 I : 整除性

荒木 徹, 木暮政幸, 柴田幸夫 (群馬大)

(5) 完全二部グラフの同型因子分解 II : 分解

荒木 徹, 木暮政幸, 柴田幸夫 (群馬大)

* 研究会に関する最新情報は <http://al.ei.tuat.ac.jp/mps/index.html> をご覧ください。

◆第 115 回 ソフトウェア工学研究会

(主査: 玉井哲雄, 幹事: 上原三八, 岸 知二, 佐伯元司)

日 程 平成 9 年 7 月 31 日 (木) ・ 8 月 1 日 (金)

会 場 日本大学 工学部 (福島県郡山市)

議 題 * 詳細は次号 (7 月号) に掲載されますのでご参照ください。

~~~~~

## \*\*\* 研究会 論文募集 \*\*\*

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名 (登壇者に○), 略称所属, 概要 (50 字程度), 発表申込者連絡先 (住所, 氏名, Tel., Fax., e-mail) を明記の上, 各研究会照会先まで e-mail または Fax. で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は, 事務局研究会担当宛 (e-mail: sig@ipsj.or.jp Fax: (03) 5484-3534) に開催日の 3 ヶ月前までにお申し込みください。

## ◆オーディオビジュアル複合情報処理研究会

日 時 平成 9 年 9 月 5 日 (金) 13 : 00 ~ 17 : 00 (予定)

会 場 秋田大学 秋田大学地域共同研究センター会議室

議 題 テーマ: 放送型オーディオビジュアルサービス, およびマルチメディア一般

発表申込締切 平成 9 年 6 月 27 日 (金) \* 発表概要は 200 字程度でお願いします。

照 会 先 小谷野浩 (NTT) e-mail: koyano@nttvdt.hil.ntt.co.jp Tel(0468)59-2330 Fax(0468)59-2829

## ◆デジタル・ドキュメント研究会

日 時 平成 9 年 9 月 19 日 (金) 13 : 30 ~ 17 : 00

会 場 情報処理学会 会議室

議 題 デジタル・ドキュメント一般

発表申込締切 平成 9 年 7 月 4 日 (金) \* できるだけ e-mail でお願いします。

照 会 先 空閑茂起 (シャープ) e-mail: kuga@pipt.tnr.sharp.co.jp Tel(07436)5-2173 Fax(07436)5-4773

## ◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

日 程 平成 9 年 9 月 11 日 (木)

会 場 筑波大学

発表申込締切 平成 9 年 6 月 27 日 (金)

照 会 先 角所 考 (京大) e-mail: kakusho@media.kyoto-u.ac.jp Tel(075)753-5996 Fax(075)753-5965

\* 申込には返信しますので, 返信のない場合にはご連絡ください。

## ◆自然言語処理研究会 (NL)

## ◆情報学基礎研究会 (FI)

日 程 平成 9 年 9 月 11 日 (木) ・ 12 日 (金)

会 場 慶應義塾大学 (矢上キャンパス)

議 題 テーマ: 文書の処理・検索と自然言語処理 (上記 2 研究会による合同または連続開催です)

発表申込締切 平成 9 年 6 月 30 日 (月) \* できるだけ e-mail でお願いします。

照 会 先 NL : 久光 徹 (日立) e-mail: hisamitu@harl.hitachi.co.jp

Tel(0492)96-6111(ext.242) Fax(0492)96-6006

FI : 出羽達也 (東芝) e-mail: izuha@eel.rdc.toshiba.co.jp

Tel(044)549-2240 Fax(044)520-1308

※ e-mail には返信しますので、返信のない場合はご連絡ください。

#### ▶プログラミング研究会

日 程 平成 9 年 9 月 12 日 (金)  
 会 場 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス  
 表申込締切 平成 9 年 6 月 30 日 (月)  
 会 先 上田和紀 (早大) e-mail:ueda@ueda.info.waseda.ac.jp Tel(03)5286-3340 Fax(03)5285-7882

#### ▶ヒューマンインタフェース研究会

日 程 平成 9 年 9 月 12 日 (金)  
 会 場 武蔵工業大学 世田谷キャンパス 3 号館メモリアルホール A 室 (東京都世田谷区)  
 題 小特集: マルチモーダルインタフェースおよび一般  
 表申込締切 平成 9 年 6 月 25 日 (水)  
 会 先 森 博彦 (武蔵工大) e-mail:mori@ie.musashi-tech.ac.jp Tel(03)5707-2160 Fax(03)5707-2160

#### ▶マルチメディア通信と分散処理研究会

日 程 平成 9 年 9 月 12 日 (金)  
 会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)  
 表申込締切 平成 9 年 6 月 27 日 (金)  
 会 先 前野和俊 (NEC) e-mail:maeno@mmp.ci.nec.co.jp Tel(044)856-2256 Fax(044)856-2388

#### ▶グループウェア研究会

日 程 平成 9 年 9 月 18 日 (木)  
 会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)  
 表申込締切 平成 9 年 6 月 19 日 (木)  
 会 先 坂内祐一 (キヤノン) e-mail:bannai@cis.canon.co.jp Tel(044)549-5320 Fax(044)549-5434

#### ▶コンピュータと教育研究会 \*当初の予定から日程、会場とも変更しています。

日 程 平成 9 年 9 月 19 日 (金)  
 会 場 関西学院大学 (上ヶ原キャンパス)  
 表申込締切 平成 9 年 6 月 20 日 (金)  
 会 先 大岩 元 (慶大) e-mail:ohiwa@sfc.keio.ac.jp Tel(0466)47-5111(ext.3236) Fax(0466)47-5085  
 雄山真弓 (関西学院大) e-mail:oyama@kgupyr.kwansei.ac.jp  
 Tel(0798)53-6111(ext.5100or3200) Fax(0798)51-0913

#### ▶数理モデル化と問題解決研究会

日 程 平成 9 年 9 月 19 日 (金)  
 会 場 九州システム情報技術研究所 (福岡)  
 表申込締切 平成 9 年 7 月 4 日 (金)  
 会 先 城 和貴 (和歌山大) e-mail:joe@sys.wakayama-u.ac.jp Tel(0734)54-0361(ext.2936)

#### ▶アルゴリズム研究会

日 程 平成 9 年 9 月 19 日 (金)  
 会 場 岩手大学工学部  
 表申込締切 平成 9 年 6 月 25 日 (水)  
 会 先 阿久津達也 (東大) e-mail:takutsu@ims.u-tokyo.ac.jp Tel(03)5449-5617 Fax(03)5449-5456

#### ▶計算機アーキテクチャ研究会 (ARC)

#### ▶設計自動化研究会 (DA)

デザインガイアー VLSI 設計の新しい大地を考えるー

上記 2 研究会と電子情報通信学会の 4 研究会の共催の研究会を以下のとおり開催します。計算機システムのアーキテク

チャから、VLSI の設計技術、CAD 技術に至る広い分野の研究者が一同に会して、21 世紀の VLSI システムについて議論を行いたいと考えています。多数の応募をお待ちしております。応募要領および宿泊申込等の詳細は次号（7 月号）をご参照ください。

日 程 平成 9 年 10 月 28 日（火）●共通企画：21 世紀に向けての VLSI の研究開発について  
29 日（水）●一般講演（3 つの単独もしくは共催研究会の同時開催）

会 場 シーガイア（宮崎市山崎町）

発表申込締切 平成 9 年 7 月 18 日（金）

照 会 先 ARC：木村康則（富士通研）e-mail:ykimura@flab.fujitsu.co.jp

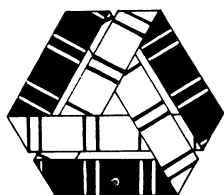
DA：若林真一（広島大）e-mail:wakaba@ecs.hiroshima-u.ac.jp

\* 29 日は設計自動化研究会は電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会）と共催、計算機アーキテクチャ研究会は単独開催の研究会となります。また、電子情報通信学会（VLSI 設計技術研究会とフォールトトレラントシステム研究会の合同研究会）も 29 日に開催されます。

\* 28 日は前記 5 つの研究会と電子情報通信学会（集積回路研究会）の 6 研究会の合同・共催です。

~~~~~

会議案内



各国際会議末のコードは、整理番号です。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ切手 90 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

○：本会主催・共催 ◆：本会協賛

1. 開催日 2. 会場 3. 照会先 4. その他

【国内会議】

◆仮想都市研究会シンポジウム（VCS'97）—離陸する仮想都市サービス

1. 平成 9 年 7 月 18 日（金） 2. 慶大日吉（横浜市港北区） 3. 岡田（慶大理工）Tel(045)563-1141(ext.3537)
e-mail:okada@inst.keio.ac.jp

◆第 9 回交通・物流部門大会

1. 平成 9 年 7 月 28 日（月）～ 30 日（水） 2. 東京国際フォーラム（都内千代田区） 3. （社）日本機械学会
Tel(03)5360-3500

◆第 2 回ロボティクス・シンポジア、第 2 回ロボメカ・シンポジア

1. 平成 9 年 8 月 2 日（土）～ 3 日（日） 2. 東京国際フォーラム（都内千代田区） 3. （社）日本機械学会
Tel(03)5360-3500

【国際会議】

◆Basic Research for 21st Century Info-Communication Society — Towards New Breakthrough Research for the Next generation — (7018)

1. 1997 年 7 月 10 日（木）～ 11 日（金） 2. 東京ダイヤモンドホテル（都内千代田区） 3. （財）テレコム先端技術研究支援センター Tel(03)3351-8152 e-mail:frontier@sh0.po.ijnet.or.jp http://www.ijnet.or.jp/scat/

The 11th International Conference on VLSI Design (7017)

1. 1998 年 1 月 4 日（木）～ 7 日（日） 2. Chennai, India 3. http://figaro.csee.usf.edu/VLSI98.ps

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください.)

- ・行事 No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください.
- ・欠席の場合も参加費は返金いたしません.
- ・会員の方は必ず会員 No.を記入してください. 記入されていない場合は非会員とさせていただきます.

申込者 (A は該当番号に○)

A : 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B : 会員 No.			C : ご氏名	
D : 勤務先			E : ご所属	
F : 郵便番号		G : ご住所		
H : Tel			I : Fax	
J : e-mail				

送付先, 照会先などが上記と異なる場合のみ下記に記入

K :

申込行事

L : 行事 No.	
M : 参加費	円
N : 懇親会費	円
O-1 : 論文集のみ	円
O-2 : 論文集のみ	冊

アンケート*宿泊付行事のみ記入 (部屋制参考)

P : 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q : たばこ	(1) すう (2) すわない
R : 年齢	(1) 20 代 (2) 30 代 (3) 40 代 (4) 50 代以上
S : 通信欄	

T : 支払方法
(該当番号に○)

(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店	普通	1013945	(月 日に送金予定) *
(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部	普通	0000608	(月 日に送金予定) *
(3) 郵便振替 (00150-4-83484)		(月 日に送金予定) *	
(4) 当日持参			
(5) 現金書留			
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日を分かる範囲で記入			

U : 送金名義人

V-1 : 請求書 通 V-2 : 見積書 通 V-3 : 納品書 通

W : 請求書記載名義

X : 送金に関する問合せ先

申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)

e-mail:jigy@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)

* e-mail での申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと.

【例】 A : (1), B : 9999999, C : 情報太郎, ... T : (1) (1月30日送金予定), U : 情報太郎, V-1 : 1, V-2 : 1, V-3 : 1, W : (株) ××電気, ...

行事 No. S-SE97-1

「オブジェクト指向 '97 シンポジウム」参加者募集

オブジェクト指向技術はソフトウェアやソフトウェア開発の広範な領域に影響を及ぼしており、さらにネットワークの普及にともなう分散オブジェクト技術の世界も急速に拡大しています。こうしたオブジェクト指向の理論から実践にわたる最新の研究・開発・実践成果の交流の場としてオブジェクト指向 '97 シンポジウムを開催します。初心者から上級者までを対象とした多彩なプログラムを企画しました。多数の参加をお待ちしています。

日 時 平成 9 年 7 月 2 日 (水), 3 日 (木), 4 日 (金) とともに 10 : 00 ~ 17 : 45
 会 場 タイム 24 ビル セミナールーム (臨海副都心) *参加申込みの方には詳細を後日送付。
 主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会
 協 賛 情報サービス産業協会, 日本ソフトウェア科学会 (依頼中)
 参 加 費 会員 : 25,000 円, 研究会登録会員 : 20,000 円, 非会員 : 30,000 円, 学生 : 5,000 円
 (いずれも論文集, チュートリアル/ワークショップ資料を含む)
 資料のみ 5,000 円 (論文集, チュートリアル/ワークショップ資料, 送料込)
 申込締切 平成 9 年 6 月 27 日 (金) *申込方法, 申込/照会先については前号 (5 月号) 本欄をご参照ください。
 備 考 本シンポジウムは下記のソフトウェア工学研究会ホームページでもご案内しています。
<http://www.comp.ac.keio.ac.jp/lab/iijima/sigse.html>

プ ロ グ ラ ム

7 月 2 日 (水) <チュートリアルとワークショップ>

- [10 : 00 ~ 11 : 45] チュートリアル (3 トラック)
 - T11 : オブジェクト指向基礎—方法論からソフトウェアアーキテクチャーへ 中谷多哉子 (東大)
 - T21 : オブジェクト指向プログラミング 野呂昌満 (南山大)
 - T31 : アプリケーションフレームワークとビジネスオブジェクト 上原三八 (富士通研)
- [12 : 45 ~ 14 : 30] チュートリアル (3 トラック)
 - T12 : oo 分析設計方法論—統一モデリング言語 UML の概要と課題— 羽生田栄一 (オービス総研)
 - T22 : JAVA による分散システム開発 鈴木 章 (日本サン・マイクロシステムズ)
 - T32 : 開発事例に学ぶ 司会 : 岸 知二 (NEC)
 - ・証券市場接続支援システムのプロトタイプ開発 伊野谷祐二 (日立)
 - ・ビジネスシステム開発手法の整備 鈴木由美子 (三菱電機)
 - ・ネットワーク管理システムの開発と保守 田中 実 (NEC)
- [14 : 45 ~ 16 : 30] チュートリアル (3 トラック)
 - T13 : オブジェクト指向とデータベース 野口喜洋 (松下電器)
 - T23 : ActiveX による分散システム開発 萩原正義 (マイクロソフト)
 - T33 : デザインパターンの適用によるフレームワークの構築 吉田和樹 (東芝)
- [16 : 45 ~ 17 : 45] ワークショップ
 - オブジェクト指向モデリングワークショップ (第 1 部 : 問題説明)

コーディネータ : 鯨坂恒夫 (和歌山大), 中谷多哉子 (東大)

7 月 3 日 (木) <招待講演/テクニカルセッション/パネル>

- [10 : 00 ~ 10 : 15] 開会の挨拶 岸 知二 (NEC)
- [10 : 15 ~ 11 : 30] 招待講演 司会 : 中所武司 (明治大)
 - ・オブジェクト指向方法論の形式化 片山卓也 (北陸先端大)
- [12 : 45 ~ 14 : 15] テクニカルセッション (3 トラック)
 - セッション A1 : 分散システム
 - ・ CORBA を利用した分散協調型シミュレーション基盤 林 富彦, 郡司 勝, 服部吉洋 (NEC)
 - ・問題向け設計言語ベースの AP 構築支援ツール 中島 震, 友部 実, 三木雅人 (NEC)
 - ・ UNIX プロセスの分散オブジェクト化—プロセスオブジェクトモデルの提案— 上原 均, 畠山正行 (茨城大)
 - セッション B1 : パターン技術
 - ・パターンを用いたアーキテクチャ設計 野田夏子, 岸 知二 (NEC)

- ・ SGML によるデザインパターンの構造化文書化 大月美佳, 瀬川淳一, 吉田紀彦, 牧之内顕文 (九大)
- セッション C1 : 分析と仕様化
 - ・ 多重視点の問題領域におけるオブジェクトの組織化過程 中谷多哉子, 玉井哲雄 (東大)
 - ・ A Dynamic Evolution of Distributed Systems Issam A.Hamid (東北芸術工科大)
- [14 : 30 ~ 16 : 00] テクニカルセッション (2 トラック)
- セッション A2 : パターン適用事例
 - ・ ネットワークアプリケーションにおけるフレームワークとデザインパターンの応用 不破康人, 福村真奈美, 萩本順三 (NJK)
 - ・ パターンを用いた分散オブジェクト指向ソフトウェアの開発事例 友納正裕, 中島 震, 山中淳彦, 登内敏夫 (NEC)
 - ・ 金融アプリケーション開発におけるパターン適用 山本里枝子, 上原忠弘 (富士通研)
- 赤木 豊 (富士通金融システムズ), 石田修一, 藤田雅人 (富士通), 吉田裕之 (富士通研)
- セッション B2 : プログラム解析とリエンジニアリング
 - ・ オブジェクト指向プログラミングにおける変更履歴を用いた新規クラスの自動生成 丸山勝久, 島 健一 (NTT)
 - ・ 差分プログラミングに基づくハイパーメディア型文書管理システムのイントラネット化 窪野哲光 (東京電力)
 - ・ リバース情報を活用したオブジェクト指向によるシステム再構築技術 佐能克明, 川上博之, 新井一人 (川崎製鉄), 千葉寛之, 秋庭真一, 永岡郁代 (日立)
- [16 : 15 ~ 17 : 45] 全体パネル
 - ・ パターンははたして有効か 司会 : 三ッ井欽一 (日本 IBM)
 - パネリスト : 佐藤啓太 (インアルカディア), 柴山悦哉 (東工大), 羽生田栄一 (オーグス総研)
 - 吉田和樹 (東芝), 吉田裕之 (富士通研)
- 7 月 4 日 (金) <招待講演/テクニカルセッション/ワークショップ/パネル>
- [10 : 00 ~ 11 : 15] 招待講演 司会 : 深澤良彰 (早大)
- ・ Learning System Concepts in Virtual Reality Adele Goldberg (Neometron, Inc.)
- [12 : 30 ~ 14 : 00] テクニカルセッション (2 トラック), 小チュートリアル
- セッション A3 : アプリケーション開発プロセス
 - ・ オブジェクト指向フレームワーク利用手法の提案—フレームワーク構築プロセスの再利用— 名取万理, 本位田真一 (東芝)
 - ・ ビジネスオブジェクト開発における設計と実装 北山文彦 (日本 IBM)
 - ・ 分散型会議支援環境 MEOW における OMT 手法の適用事例 吉田善幸, 服部易憲, 高田信一, 山本修一郎 (NTT)
- セッション B3 : 開発環境
 - ・ UML 法におけるモデル整合性検証支援手法 大西 淳, 宇野 勝 (立命館大)
 - ・ 「ドメインモデル≡計算モデル」を志向したアプリケーション開発環境 M-base における分析・設計技法 松本光由, 小西裕治, 中所武司 (明治大)
 - ・ 制御構造とイベント送信を図示できる構造化オブジェクトモデリング環境 SOME 原田 実, 北本和弘, 岩田隆志 (青山学院大)
- T4 : 小チュートリアル
 - ・ HORB による優しい Java 分散プログラミング 平野 聡 (電総研)
- [14 : 15 ~ 15 : 45] ワークショップ, 小パネル
- W1 : オブジェクト指向モデリングワークショップ (第 2 部 : モデリング)
 - コーディネータ : 鯉坂恒夫 (和歌山大), 中谷多哉子 (東大)
- P1 : 小パネル
 - ・ オブジェクト指向教育の現実 司会 : 加藤潤三 (コムニク創研)
 - パネリスト : 高橋富夫 (富士通), 竹政昭利 (オーグス総研), 中所武司 (明治大)
- [16 : 00 ~ 17 : 30] 全体パネル
 - ・ オブジェクト指向ネットワークソフトウェアの現状と課題—分散オブジェクト環境とイントラ/インターネット— 司会 : 青山幹雄 (新潟工科大)
 - パネリスト : ActiveX 萩原正義 (マイクロソフト), Java 鈴木 章 (日本サン・マイクロシステムズ)
 - CORBA 成田雅彦 (富士通), HORB 平野 聡 (電総研), Web 連携 山本修一郎 (NTT)
- [17 : 30 ~ 17 : 45] 閉会の挨拶 玉井哲雄 (東大)

*プログラムは予定を含んでおります。変更の可能性もありますのでご了承ください。

行事 No. S-AVM97

「次世代ボーダレスメディア '97 シンポジウム」参加者募集

ー技術、システム、サービス開発の最新動向ー

オーディオ・ビジュアルを中心としたマルチメディアシステムへのニーズの高まりは、関連技術の発展と標準化の進展に相まって、最近きわめて顕著なものがあります。そこで分野を超えて専門家を集めてご講演いただき、知識の普及、真摯な討論の場を提供し、今後の研究開発の発展に資するために標記シンポジウムを開催いたします。多数の方々の参加と活発な議論をお願いいたします。

日 時 平成 9 年 7 月 14 日 (月) 10 : 00 ~ 17 : 00

会 場 早稲田大学理工学部 55 号館 N 棟 1F 大会議室 (東京都新宿区) *参加申込の方には詳細を後日送付。

主 催 情報処理学会 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

協 賛 DAVIC 活動推進委員会, 電子情報通信学会 (画像工学研究会), IEEE 東京支部 (BT グループ)

参加費 (論文集代として) 会員 (協賛学協会会員を含む) : 10,000 円 学生会員 : 2,000 円 非会員 : 15,000 円

*当日出席できない方のために論文集 (郵送) の申込みも受け付けております。

申込方法 本号会告欄の行事申込書により Fax, e-mail または, WWW でお申込みください。

*協賛学協会会員にご所属の方はご所属の学協会名を会員番号とともにご記入ください。

参加申込締切 平成 9 年 6 月 27 日 (金)

申込/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

URL:http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html

プ ロ グ ラ ム

○ [10 : 00 ~ 10 : 10] 開会の辞

● [10 : 10 ~ 12 : 05] セッション 1 : 技術開発の最新動向

- 1.1 MPEG-4
- 1.2 VRML
- 1.3 Virtual Machine と MHEG
- 1.4 IP-ATM スイッチング
- 1.5 セキュリティ技術

座長: 安田 浩 (東大)
如沢裕尚 (NTT)
宮下 健 (ソニー)
亀山 渉 (アスキー)
江崎 浩 (東芝)
高嶋洋一 (NTT)

● [13 : 10 ~ 14 : 50] セッション 2 : システム開発の最新動向

- 2.1 STB, サーバの開発
- 2.2 家庭向け ATM システムの開発
- 2.3 デジタル CATV システムの開発
- 2.4 DAVIC 相互接続実験活動

座長: 長坂 篤 (沖電気)
三澤健太郎 (NEC)
大宮 功 (NTT)
三村 到 (日立)
笠原久嗣 (NTT)

● [15 : 00 ~ 16 : 40] セッション 3 : サービス開発の最新動向

- 3.1 インターネット家電
- 3.2 OCN
- 3.3 デジタル衛星放送
- 3.4 デジタル放送サービス ISDB

座長: 村上仁己 (KDD)
鎌田富久 (アクセス)
石垣昭一郎 (NTT)
上坂直行 (日立)
大谷 明 (NHK)

○主査挨拶

一之瀬進 (NTT)

行事 No. RS7

「連続セミナー 97」参加者募集

昨年度は、「ネットワークコンピューティング時代の情報処理技術—理論と実践」というテーマで、主たる対象を中堅 SE とした実務講座を開催し、これまで参加者から好評を得ています。本年度は引き続き中堅 SE を対象とし、時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容と実務的な内容とをとりまぜて、受講者にとってより有益な情報、知識獲得の場といたしたく、「ネットワークは社会と個人をどう変えるか—21 世紀のグローバル化に向けて—」というテーマを掲げて、以下の連続セミナーを開催いたします。

開催日時

第 1 回 平成 9 年 6 月 13 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00
「仮想環境社会の今後」

第 2 回 平成 9 年 7 月 24 日 (木) 10 : 00 ~ 17 : 00
「ネットワークコンピュータ」 コーディネータ：水野忠則 (静岡大)
・セッション 1 「モバイルネットワークコンピュータとアプリケーション」 (10 : 00 ~ 11 : 15)
黒田正博 (三菱電機)
・セッション 2 「エンタープライズとホームに向けたネットワークコンピューティング」 (11 : 30 ~ 12 : 45)
林 俊成 (日本 IBM)

昼休み (昼食)

・セッション 3 「Java コンピューティングを実現するデスクトップ環境」 (14 : 00 ~ 15 : 15)
北野敬介 (日本サン・マイクロシステムズ)
・パネルディスカッション 「ネットワークコンピュータと未来」 (15 : 30 ~ 17 : 00)
司会：水野忠則 (静岡大学)
パネラー：黒田正博 (三菱電機)、林 俊成 (日本 IBM)、北野敬介 (日本サン・マイクロシステムズ)

第 3 回 平成 9 年 9 月 19 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00 (予定)
「イントラネットの最新動向とそれを支える技術」 コーディネータ：松下 温 (慶大)
第 4 回 平成 9 年 12 月 5 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00 (予定)
「ネットワークとセキュリティ」 コーディネータ：苗村健司 (慶大)
第 5 回 平成 10 年 1 月 19 日 (月) 10 : 00 ~ 17 : 00 (予定)
「デジタル図書館」 コーディネータ：増永良文 (図書館情報大)
第 6 回 平成 10 年 3 月 24 日 (火) 10 : 00 ~ 17 : 00 (予定)
「データウェアハウス」 コーディネータ：鈴木健司 (東京国際大)

会 場 工学院大学 312 教室 (東京都新宿区)

参加費 (6 回分) 本会正会員 84,000 円 非会員 105,000 円 学生 12,600 円

資 料 当日配布

定 員 250 名

申込締切 平成 9 年 5 月 30 日 (金) (定員になり次第締め切ります)

申込方法 本号行事申込書または学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp>) に必要事項をご記入のうえ、下記申込先までお送りください。

申 込 先 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F (社) 情報処理学会 事業係
e-mail:jigyo@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

○量子計算合同研究会のお知らせ

量子コンピュータ研究の最近の進展についてのチュートリアル的な講演会を開催します。参加費は無料です。

日 時 1997 年 7 月 19 日 (土) 11 : 00 ~

会 場 名古屋大学情報文化学部

申込締切 7 月 11 日 (金)

連絡先 〒464 名古屋市中区千種区不老町 名古屋大学情報文化学部 小澤正直

e-mail:e43252a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp Fax(052)721-2686

第 27 回安全工学シンポジウム開催プログラム

－ 21 世紀へ向けての新科学技術の展開と安全－

主 催 日本学術会議安全工学研究連絡委員会
 共 催 情報処理学会他 33 学協会
 開 催 日 平成 9 年 7 月 3 日 (木), 4 日 (金)
 会 場 日本学術会議講堂 大会議室 5 部会議室 (東京都港区六本木 7-22-34 Tel(03)3403-6291)
 地下鉄千代田線乃木坂駅下車, 青山霊園側出口から徒歩約 1 分
 参 加 費 参加自由 (無料), 講演予稿集 有料 (1 部 一般: 5,000 円, 学生: 2,000 円)
 連 絡 先 〒101 東京都千代田区神田駿河台 1-5
 (社) 日本化学会内第 27 回安全工学シンポジウム実行委員会 Tel(03)3292-6162 Fax(03)3292-6318

特別招待講演 2 件, オーガナイズドセッション 3 件, パネルディスカッション 3 件, 一般講演 53 件
 (共通・情報関連の主要事項は以下のとおり, 詳細は連絡先にお問い合わせください)

「特別招待講演」

7 月 3 日 13 : 20 ~ 14 : 20 人類生存の戦略 東京情報大学学長・日本学士院会員 小田 稔
 7 月 4 日 13 : 00 ~ 14 : 00 米を主食とする人々のカドミウム曝露 京都大学名誉教授 池田正之

「オーガナイズドセッション」

7 月 3 日 9 : 30 ~ 12 : 00 テーマ 化学物質と健康 座長: 慶応大学医学部 大前和幸
 1. 新しい大気環境基準「未だ見ぬ」健康影響発生予防のために 環境庁 椎葉茂樹
 2. Endocrine disruptors ーマイクログラムからピコグラムへ 国立環境研究所 森田昌敏
 3. 喫煙・飲酒と健康ー 40 年間の知見ー 国立公衆衛生院 望月友美子
 4. がん予防ー可能性と現実ー 国立がんセンター 津金昌一郎
 7 月 4 日 14 : 05 ~ 16 : 35 テーマ 情報化社会における安全 座長: 新潟大学法学部 大野幸夫
 1. 情報通信ネットワークの安全・信頼性確保対策 郵政省電通局 貝沼孝二
 2. 電子商取引の推進と課題の解決 通産省機械情報産業局 松山泰浩
 3. ネットワーク・プロバイダーの法的責任と事業者倫理 日本総研 大谷和子

「パネルディスカッション」

7 月 3 日 14 : 30 ~ 16 : 30 テーマ 危機管理 座長: 三菱総合研究所 野口和彦
 1. 企業経営の立場から見た危機管理の視点で コニカ 江川淑夫
 2. 危機管理コンサルタントの視点で クロール・アソシエイツ フレデリック・K・シュミット
 3. リスク・マネージャーの視点で ニッセイ損害保険 本位田正平
 4. 安全行政の視点で 前労働省産業安全研究所 森崎 繁
 7 月 4 日 9 : 00 ~ 11 : 00 テーマ 安全性と経済性 座長: 東京工芸大芸術 鈴木喜久
 1. 安全性と経済性の課題 東京工芸大芸術学部 鈴木喜久
 2. 経済優先事例について ASP 研究所 中沢 滋
 3. 経済的自動化について 日立製作所生産技術研究所 宮川正威
 4. 事故に対する経済的責任 九州大学法学部 北川俊光
 5. 事故の経済的評価について

「一般講演」

7 月 3 日 9 : 30 ~ 10 : 50 テーマ 安全概念, 安全と人間特性, 電気・電子・情報に関する安全性と信頼性 座長: 杉本 旭
 7 月 3 日 10 : 55 ~ 12 : 15 テーマ システムの安全性と信頼性 座長: 向殿政男
 7 月 4 日 11 : 05 ~ 12 : 25 テーマ 交通に関する安全性と信頼性, 災害と救急医療 座長: 大久保亮夫

「ハイパフォーマンスコンピューティング・シンポジウム (HPCS '97)」 参加者募集

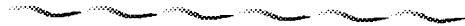
スーパーコンピュータから高性能マイクロプロセッサ、並列処理技術まで、ハイパフォーマンスコンピューティングを巡る状況は著しい変化・発展を見せています。数値解析研究会から発展的に発足したハイパフォーマンスコンピューティング研究会は発足から5年目を迎え、高性能計算をキーワードとして、数値計算法から計算機アーキテクチャ、並列処理、プログラミング言語、コンパイラ技術を横断的に議論する場となっています。研究会での活動を踏まえ、本シンポジウムでは、招待講演を中心にして、ハイパフォーマンスコンピューティングを巡る技術を概観するとともに、これからの方向性について議論を行うものであります。

なお、本シンポジウムは並列分散分野の合同研究会『SWoPP 阿蘇 '97』と隣接して開催いたします。

- 日 程** 平成9年8月18日(月)
- 会 場** グリーンピア南阿蘇(熊本県阿蘇郡久木野村)
- 主 催** 情報処理学会 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 *実行委員長:小柳義夫(東大)
- 参 加 費** 会員:5,000円, 学生:3,000円, 非会員:7,000円
- 申込方法** 氏名, 所属, 住所, Tel, Fax, e-mailをご記入の上, e-mailまたはFaxにて下記宛までお申送ください。
(e-mailでのお申込を歓迎します)
- 申込/照会先** 佐藤三久(RWCP) e-mail:hpcs97@rccp.tsukuba.ac.jp Tel(0298)53-1663 Fax(0298)53-1652
*本シンポジウムに関する最新情報は, WWW上のハイパフォーマンスコンピューティング研究会ホームページにてご案内しております。URL:<http://phase.etl.go.jp/sighpc/>
- 申込締切** 平成9年7月18日(金)
- ※宿泊・交通に関しては, 同会場にて連続開催される『SWoPP 阿蘇 '97』で用意される便利なパックをご利用いただけます。詳細は『SWoPP 阿蘇 '97』関連の会告(Vol.38 No.5)をご覧ください。なお, 開催時期はハイシーズンのため, 直前の宿泊・交通の確保は困難と予想されます。なるべく上記パックをご利用ください。また, 上記パックの申込締切は本シンポジウム参加申込締切より早くとなっておりますのでご注意ください。

プ ロ グ ラ ム

- 午 前 チュートリアル (2件)**
- ・ RISC 計算機と HPC プログラミング 寒川 光 (日本 IBM)
 - ・ HPF 言語とその最新動向 妹尾義樹 (NEC)
- 午 後 招待講演 (4件)**
- ・ 並列コンピュータで解く複雑な流れ 高橋亮一 (東工大)
 - ・ 数値計算と並列アプリケーション (仮題) 島崎眞昭 (京大)
 - ・ 車体開発における流体の数値計算と可視化 姫野龍太郎 (日産自動車)
 - ・ プロセッサによる実行時ループ再構成方式 平木 敬 (東大)



○第13回電気通信普及財団賞「テレコムシステム技術賞」「テレコム社会科学賞」論文募集

電気通信およびそれに関連する情報処理についての工学的技術的観点からの研究, ならびに電気通信についての社会科学的観点からの研究に関するもの。表彰は両賞とも5論文以内です。詳細は下記に問い合わせください。

対象論文 学会誌, 国際会議, 雑誌等に発表ないし採録が決定したもの, または著書など。

応募締切 平成9年9月30日

照 会 先 〒105 東京都港区西新橋 1-6-11 西新橋光和ビル (財)電気通信普及財団 Tel(03)3470-7518

「日本語音声ディクテーション基本技術講習会」参加者募集

さまざまな音声入力アプリケーションの基盤技術である、音声ディクテーションに関する講習会を開催します。

本講習会では、公開されている音声・言語データベースや形態素解析ソフトを利用して音韻モデルや言語モデルを作成する方法、作成したモデルを用いてワークステーション上にディクテーションシステムを構成する方法、について実習を
おり混ぜながら講習します。

皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 平成 9 年 8 月 21 日 (木) 10 : 00 ~ 17 : 00
22 日 (金) 9 : 00 ~ 17 : 00
23 日 (土) 9 : 00 ~ 16 : 00

会 場 会津大学 コンピューター理工学部 (福島県会津若松市一箕町鶴賀)

主 催 情報処理学会 音声言語情報処理研究会

参 加 費 一般 : 30,000 円, 学生 : 10,000 円 (テキスト, 一部のソフトウェアを含む)

申込締切 平成 9 年 7 月 1 日 (火) (定員 : 30 名になり次第締め切ります。)

申込/照会先 武田一哉 (名大) e-mail:takeda@nuee.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3629 Fax(052)789-3172

プ ロ グ ラ ム

8 月 21 日 (木)

● [10 : 00 ~ 11 : 15]

- ・ Dictation 技術の概要と動向

中川聖一 (豊橋技科大), 鹿野清宏 (奈良先端大)

● [12 : 30 ~ 15 : 15]

- ・ 音声/言語データベース
- ・ 形態素解析

小林哲則 (早大), 竹沢寿幸 (ATR)
伊藤克亘 (電総研), 宇津呂武仁 (奈良先端大)

● [15 : 30 ~ 17 : 00] 実習

- ・ ChaSen を用いた新聞記事の形態素解析

8 月 22 日 (金)

● [9 : 00 ~ 11 : 45]

- ・ 統計的言語モデル
- ・ HMM 音韻モデル

伊藤彰則 (山形大), 田本真詞 (NTT)
峯松信明 (豊橋技科大), 清水 徹 (KDD)

● [13 : 30 ~ 17 : 00] 実習

- ・ CMU のツールキットを利用した言語モデルの作成
- ・ HTK を利用した HMM 音韻モデルの作成

8 月 23 日 (土)

● [9 : 00 ~ 11 : 00]

- ・ 連続音声認識アルゴリズム

松岡達雄 (NTT), 河原達也 (京大), 武田一哉 (名大)

● [12 : 30 ~ 16 : 00] 実習

- ・ HTK を用いた連続音声認識システムの構築

平成 9 年電気・情報関連学会連合大会開催のご案内

本大会は電気・情報関連の 5 学会が毎年共催する、長い歴史のある大会で関連学会会員に魅力ある講演あるいは学際的テーマを選ぶと共に日本学術会議の企画および協力を得て、著名な講師陣によるシンポジウム講演を併催して会員はもとより、社会一般の方々に自由に聴講頂けるよう計画しましたので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

日 時 平成 9 年 8 月 22 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 20
 会 場 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木 7-22-3)
 交 通 地下鉄千代田線 : 乃木坂駅下車、徒歩 1 分
 徳講無料 無料。ご自由にご参加ください。
 予 稿 集 頒価 : 1,050 円

統一テーマ 「マルチメディア社会における光と影」

◆招待講演 1 [10 : 00 ~ 11 : 00]

「高齢化社会と情報技術」

遠藤隆也 (NTT アドバンステクノロジー)

◆招待講演 2 [11 : 00 ~ 12 : 00]

「アカデミアのグローバル化」

塚本享治 (電総研)

◆招待講演 3 [13 : 00 ~ 14 : 30]

「EC・電子マネー」(仮題)

安田 浩 (東大)

「電子マネーと暗号政策」

石黒一憲 (東大)

日本学術会議シンポジウム「21 世紀の情報技術」[14 : 50 ~ 17 : 20]

・創造性教育と次世代情報技術

堂下修司 (京大)

・21 世紀の情報技術者を育成するための大学専門教育カリキュラム

柴山 潔 (京都工繊大)

・産学共同と役割分担

牛島和夫 (九大)

・ソフトウェアからシステム記述へ

寺田浩昭 (高知工科大)

照 会 先 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

(社) 情報処理学会 事業係

Tel:(03)5484-3535 Fax:(03)5484-3534 e-mail:jigyoe@ipsj.or.jp http://www.ipsj.or.jp

主 催 (社) 情報処理学会 (社) 電気学会 (社) 電子情報通信学会

(社) 照明学会 (社) 映像情報メディア学会

○ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP) 事業の募集

研究対象領域は、脳機能の解明のための基礎研究分野、生体機能の分子論的アプローチによる解明のための基礎研究分野、およびこれらを支える支援技術に関連した研究です。募集する事業内容は、2 カ国以上の研究者からなる国際共同研究チームを対象とした研究グラント、若手研究者を対象としたフェローシップ (長期・短期)、およびワークショップへの助成です。詳細は英語にて下記に問い合わせてください。ホームページでもみられます。

応募締切 毎年 9 月 1 日必着 (短期フェロー、ワークショップは随時受付)

照 会 先 HUMAN FRONTIER SCIENCE PROGRAM ORGANIZATION (HFSP)

Bureux Europe, 20 place des Halles, 67080 STRASBOURG Cedex, FRANCE

e-mail:info@hfsp.c-strasbourg.fr Tel:+33-88-21-51-21 Fax:+33-88-32-88-97 http://www.hfsp.org

○第 11 回「日本 IBM 科学賞」候補者募集

対象概要 物理・化学・コンピューターサイエンス・エレクトロニクスの分野で研究活動を行っている国内の大学あるいは公的研究機関に所属する 45 歳以下 (8 月 15 日現在) の基礎研究者 (国籍は問わない)

賞 金 等 賞状と副賞のメダルおよび賞金 300 万円 6 件 (原則として 1 件 1 名)

推薦締切 平成 9 年 8 月 15 日 (木)

照 会 先 〒106 東京都港区六本木 3-2-12 日本 IBM 科学賞事務局 Tel:(03)3586-1111(ext.4318)

http://www.ibm.park.org/Japan/science/index.html

第 30 回情報科学若手の会開催のご案内

テーマ「計算機と教育」について

若手の会は分野を限定した研究会やシンポジウムとは異なり、情報科学に関係する若手研究者が集まり、形式や成果に捕らわれず自由な討論を行う場です。

情報の波は、世の中に急速に広がっており、コンピュータは教育の場でも生活の場でも次第に重要な位置を占めてきています。そのような時代の流れを背景に、バイオサイエンスと情報科学のからみ、インターネットを使った災害訓練、コンピュータ教育などのテーマについて、若い人ならではの斬新なアイデア、時代の風潮に捕られない新鮮でユニークな考え方を出しあおうということが若手の会の目的です。

若手の会は以下のような趣旨で行われています。

1. 活発な討論の中から若手研究者ならではの斬新な発想を生み出し、情報科学・情報工学の新しい可能性を考え、将来の夢を語り合う。
2. 専門分野だけでなく情報科学のさまざまな分野で活躍する若手どうしの討論を通して視野を広げる。
3. 専門分野にこだわらず、情報科学の全般に渡る若手研究者の横の繋がりを広げる。

若手の会参加者全員が議論に参加することを目標とし、従来の研究会スタイル（発表および質疑）をとらずに、前年度に引続きディスカッション形式で会を進めます。昨年度は「インターネットの現在・過去・未来」というテーマで、インターネットの現状を踏まえて若手として何をするべきかというところまで話が進みました。今年は、昨年度のアンケート結果を反映し、「計算機と教育」というテーマで行います。一案としましては、現在の中高校生に対する計算機教育の問題点を提起し、その問題を解決するためにはどういう風に教育すればよいか、また現在の計算機に足りない部分は何かを議論し、そして、新しい教育方法や既存の計算機に不足した機能を実現するにはどういう解法、技術、（や倫理）が必要かを模索できればと思っています。ディスカッションの骨組みは立っていますが、会を進めていくのは、参加者みなさんです。議論の中で新鮮なアイデアがあればどんどんとりいれたいと思っています。計算機と教育について、思っていることをあなたも自由にどんどん発言してみませんか？

詳細については若手の会のホームページ <http://ipsj.or.jp/sympo/prosym.html> の若手の会の項目をご覧ください。参加申込はホームページからでも可能です。

より多くの大学・企業などからの若手の皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

- 日 時 平成 9 年 9 月 3 日（水）～ 5 日（金）
- 会 場 大学セミナーハウス（東京都八王子市下柚木 1087-1）：宿泊もこちらです。
- 定 員 50 名
- 参加資格 情報科学および関連分野で研究・教育・実務に携わっている若手研究者・教育者・技術者の方
- 参加費（宿泊費込） 大学生大学院生：12,000 円 社会人：14,000 円
（遠隔地からの参加者には交通費の補助を予定）
- 参加申込 email、ホームページから、Fax、郵送のいずれかの方法で以下の各項目をお知らせください。
氏名（男性・女性の別）、所属（学生の場合は学年も）、連絡先（住所、電話番号、fax 番号、email address）
喫煙・禁煙の別
- 申込締切 平成 9 年 7 月 31 日（必着）
- 主 催 プログラミングシンポジウム委員会
- 参加申込先 email address: wakate97_sanka@nak.math.keio.ac.jp
郵送、Fax 宛先：〒169 東京都新宿区大久保 3-4-1 早稲田大学理工学部 二村研究室（59-406）
若手の会幹事宛 Tel/Fax(03)5286-3339
- 若手の会幹事 小出 洋（日本原子力研究所）、楠岡孝道、中村嘉志（電気通信大学）
白井千恵子、笥 一彦、川本史生（早稲田大学）、田中詠子、吉池久夫、山口文彦（慶應義塾大学）

「コンピュータシステム・シンポジウム」論文募集

システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会では、ネットワークにともなうコンピュータシステムの国際化、多様化、高機能化などの変化をふまえ、いまシステムソフトウェアに求められている機能を議論しようと、コンピュータシステム・シンポジウムを企画しております。

また、分散オブジェクト指向システムなどのチュートリアルも開催し、また、アイディア段階の議論ができるように、宿泊形式で行います。招待講演も行います。詳細は以下の WWW ページをご覧ください。

日 程 平成9年11月6日(木)・7日(金)
 会 場 東京近郊の宿泊施設 * <http://avenue.tutics.tut.ac.jp/OS/CS97.html> を参照ください。
 主 催 情報処理学会 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

論文募集要領

一般論文テーマ

- (1) マルチメディアを支えるシステムソフトウェア
 - (2) 分散システム
 - (3) 国際化時代のシステムソフトウェア
- *上記以外の、システムソフトウェアに関連したテーマ全般を広く受け付けます。

ワーク・イン・プロGRESS セッション

テーマは上記の一般論文に準じますが、研究の途中経過、アイディア段階のホットな話題を歓迎します。このセッションは11月6日の夕刻からを予定しております。

応募方法 (1) 一般論文か、ワークインプロGRESSかの区別、連絡先(住所、氏名、Tel, Fax, e-mail)の明記のうえ、内容が良くわかるように記述した概要を申込先まで5部提出してください。

●一般論文の場合: A4判用紙2枚程度

●ワーク・イン・プロGRESSの場合: A4判用紙1枚程度

電子メールなどの出願は、同様の内容をプレーンなテキスト形式にして、sig@ipsj.or.jp にお送りください。(区別のため、必ず Subject フィールドに、半角(US-ASCII)文字で [SIG-OS:CS-Sympo] をつけてください。)

(2) 応募論文は論文概要をもとに、プログラム編成委員会において審査します。採択された場合、一般論文については本論文を、ワークインプロGRESSについては概要を提出してください。

スケジュール (1) 論文概要提出締切 平成9年8月11日(月)
 (2) 採否通知 平成9年9月10日(水)
 (3) カメラレディ原稿締切 平成9年9月30日(火)

申 込 先 (社)情報処理学会シンポジウム係
 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

照 会 先 豊橋技術科学大学 情報工学系 梅村恭司
 〒441 愛知県豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘1-1
 e-mail:umemura@tutics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6762 Fax(0532)44-6757 (学科事務室)

「1998 年情報学シンポジウム」論文募集 “Beyond the Internet”

ー WWW 情報検索・電子図書館・セキュリティ・著作権・マルチメディア情報流通・感性情報処理ー

ネットワーク化社会における情報の円滑な流通と高度利用を促進するため、データ、情報、知識、意味に関する基本的問題とその解決について議論し、あわせて研究・開発者、利用者が情報・知識の利用に関するアイデアや知見を交換し、交流をはかる場を提供する。本シンポジウムは、1984 年以來、毎年開催されている。また、日本を代表する研究者・技術者を招待して、上記テーマに関わる最新の研究開発の状況を、今後の課題・展望を含めて講演していただく。

日 時 平成 10 年 1 月 13 日（火）・14 日（水）両日とも 9：30～17：00

会 場 日本学術会議講堂（東京都港区）

共同主催（予定） 日本学術会議 情報学研究連絡委員会 情報工学研究連絡委員会
情報処理学会、人工知能学会、日本医学会、日本化学会、日本数学会、日本地理学会、日本物理学会
情報知識学会、日本生物物理学会、日本ソフトウェア科学会

後 援（予定） 科学技術振興事業団、化学情報協会、学術情報センター、計測自動制御学会、国際電信電話
情報科学技術協会、情報通信学会、電子情報通信学会、日本医療情報学会、日本機械学会
日本金属学会、日本原子力学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本生化学会
日本電信電話、日本動物学会、日本農学会、日本分子生物学会、日本分析化学会、日本薬学会

論文募集要項

トピック インターネットは、伝送速度、著作権の扱い、情報セキュリティ問題、有害情報の氾濫などの諸問題を抱えつつも、一般の市民が利用できる状況に近づいてきた。インターネットの発展にともなう、通信の高速化、暗号・透かし、高速・広域の情報検索など種々の技術が競って開発された。社会制度的には国境のない通信環境に対応する法律整備の作業や著作権問題の検討も進められている。その一方、インターネットでは電子メールさえ使えば十分で、イベントなどの特別な場合を除いては、一般市民として利用する機会が少ないとも、囁かれている。今回のシンポジウムでは、インターネット上の情報流通に関わる種々の技術のブレークスルーを始め、人間工学的、社会科学的な面等より取り組んだ論文を幅広く募集する。あわせて、21 世紀へ向けての課題といわれる感性情報処理関連の論文も歓迎する。中心とするトピックは以下の通りであるが、内容が本シンポジウムのテーマで示された分野に属するものであれば、下記以外でも構わない。

(1) インターネット上での情報流通や情報獲得のための技術

WWW 検索エンジン、全文検索エンジン、エージェントシステム、ソーシャルフィルタリングなど

(2) インターネット、イントラネットの利用システム

エレクトロニック・コマース、教育、防災、ビジネス、情報共有システムなど

(3) インターネット上での情報流通に関わる諸課題

著作権問題についての考察・提案、情報セキュリティ技術（暗号化、透かし技術）など

(4) 情報流通のための基礎技術

情報構造化、情報体系化、分類、オントロジー、意味論、知識処理、SGML、グループウェアなど

(5) インタラクティブなマルチメディア情報流通・検索・教育技術

情報可視化、グラフィカルユーザインタフェース、ヒューマンマシンインタフェースなど

(6) 電子図書館、電子美術館、電子博物館

システム、入力技術、管理技術、検索技術、運営上の問題点など

(7) 感性情報処理のための技術

画像情報処理、音楽情報処理、人の六感と情報処理、連想情報処理、発想支援技術、応用システムなど

応募方法 ワープロで A4 用紙 8 枚以内の論文と題目、氏名、連絡先、職名を明記した別紙を添えて下記へ申し込むこと。（発表者に○印を記入）

スケジュール (1) 論文応募締切 平成 9 年 9 月 5 日（金）必着

(2) 採否通知 査読審査後 平成 9 年 10 月 14 日（火）までに発送

(3) 最終原稿締切 平成 9 年 11 月 28 日（金）

申込／照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail: sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

参加費（予定） 共催学協会員：8,000 円、学生：3,000 円、一般：12,000 円

シンポジウム実行委員会 情報処理学会 情報学基礎研究会

実行委員長：木本晴夫（NTT）、プログラム委員長：大山敬三（学術情報センター）

査読制度改善のお知らせ

論文誌編集委員会

本誌5月号に会告しましたとおり、論文査読制度を平成9年8月1日受付以後より改善します。改善の詳細は以下のとおりです。会員の皆様の投稿をお待ちしています。

査読処理の流れ

1.投稿から査読まで

- (1) 投稿者は、参考として査読希望グループを指定して投稿する（チェックリストに記入）。
- (2) 事務局は担当編集委員に、キーワード、チェックリスト、論文コピーを送付する。
- (3) 担当編集委員は論文の担当を承諾できない場合はグループ主査または副査と相談し、適切な担当編集委員を選定し、キーワード、チェックリスト、論文コピーを転送する。
- (4) 担当編集委員は2人の査読者を選定し、電子メールまたは電話で査読依頼し、内諾を得る。査読者との今後の連絡方法を確認し、事務局に査読者への査読資料の送付を指示する。
- (5) 査読者は、査読を辞退する場合は査読資料到着後1週間以内に事務局経由で担当編集委員に申し出る。担当編集委員は代わりの査読者を選定し、(4)項に示した手続きを行う。
- (6) 査読者は、査読資料到着後1か月以内に、事務局に電子メール、FAX、郵送のいずれかにより査読報告を行う。事務局は査読報告を担当編集委員に転送する。
- (7) 担当編集委員は査読報告に関して査読者に問い合わせを行うことができる。
- (8) 担当編集委員は事務局と連携をとり査読の遅れを直接督促し、両方の査読結果を得る。

2.照会および再査読

- (9) 査読者の少なくとも一方または担当編集委員が、著者への照会の必要性を認めているとき、担当編集委員は事務局を経由して、照会文を著者に送る。この際、照会の真意に関して、担当編集委員が査読者に問い合わせを行うことができる。その結果、照会の必要性がないと査読者が判断し直したときは、採否の最終判断を報告する。なお、照会は1回とする。
事務局は、著者の回答を、担当編集委員と2人の査読者に転送し、再査読を依頼する。査読者は、1か月以内に、事務局に電子メール、FAX、郵送のいずれかにより査読報告を行う。事務局は査読報告を担当編集委員に転送する。この際、前回採否の判断を出していた査読者の判断の変更もできる。前回照会と判定した査読者は、必ず採録または不採録の報告をする。前回採否の判断を出していた査読者から1か月以内に査読報告がない場合は、先の判断に変更なしと判断する。

3.メタレビュー

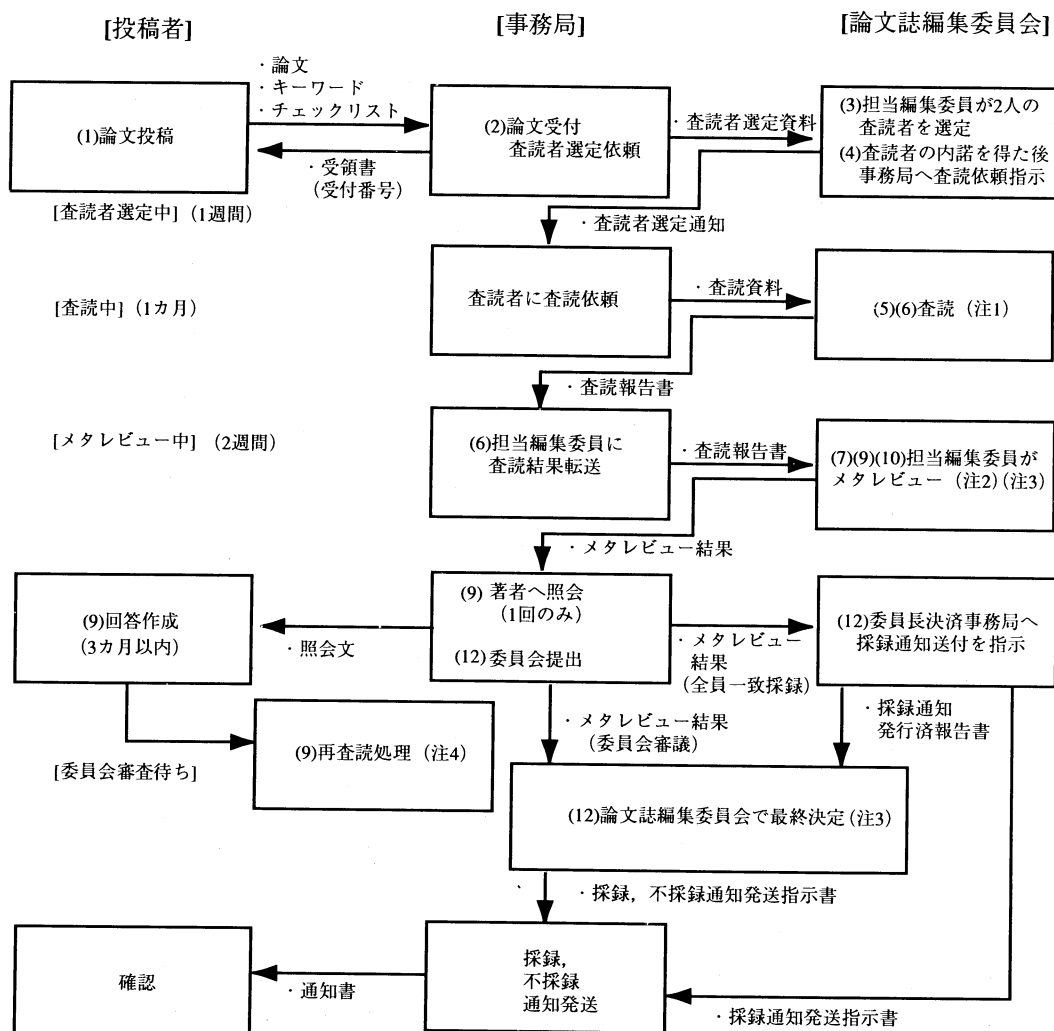
- (10) 2人の査読者からの報告に基づき、担当編集委員は2週間以内にメタレビューを行い、事務局に結果を報告する。この際、2人の査読者の査読報告の内容を両者に示し、再度意見を求めることができる。その結果査読者は、先の査読報告を変更することができる。メタレビューは、単に2つの評価の平均をとるのではなく、両者の意見を参考にしつつ、自身も査読を行い、総合的に判断を下す。この際、結論が両査読者と異なることもあり得る。
- (11) 担当編集委員は原則として採否の判断を下さなくてはならないが、特別な場合として判断不能の場合には、グループ主査と相談して、第2担当編集委員を選び、査読を依頼することができる。第2担当編集委員は依頼後2週間以内に担当編集委員と意見を交換し、2人の意見を集約したメタレビューを行い、事務局にメタレビュー結果を報告する。第2担当編集委員は原則として著者への照会を行わない。また、第2担当編集委員の選定は1回のみとする。

4.採録、不採録の決定

- (12) その後の処理は以下の通り。
 - ・全員の意見が採録で一致した場合には、事務局はただちに論文誌編集委員会委員長の承認を得て、採録の手続きを開始する。編集委員会にその旨報告を行う。
 - ・全員の意見が不採録で一致した場合には、原則として不採録だが、最終判定は編集委員会で行う。
 - ・2人の査読者の意見が割れた場合には、原則として担当編集委員の判断を採用するが、最終判定は編集委員会で行う。
 - ・2人の査読者の意見が同じで、担当編集委員の判断がこれと異なる場合には、編集委員会で議論して判断する。原則として、担当編集委員の判断を尊重するが、特に、さらなる査読が必要と判断された場合には、第2担当編集委員を選び、査読を依頼する。その後の処理は(11)項と同じ。

追記事項1) グループ主査、副査は論文の内容により他のグループ主査に担当を依頼できる。

論文が採録されるまで

1997.8.1より実施
論文誌編集委員会

注1: (8)期限内に査読が終了しない場合、担当編集委員は事務局と連携をとり査読の遅れを直接督促し、両方の査読結果を得る。

注2: (7)(9)(10) 2人の査読者からの報告に基づき、担当編集委員は2週間以内にメタレビューを行い、事務局に結果を報告する。この際、2人の査読者の査読報告の内容を両者に示し、再度意見を求めることができる。その結果査読者は、先の査読報告を変更することができる。メタレビューは、単に2つの評価の平均をとるのではなく、両者の意見を参考にしつつ、自身も査読を行い、総合的に判断を下す。この際、結論が両査読者と異なることもあり得る。

注3: (11)(12)特別な場合として担当編集委員が判定不能の場合、または担当編集委員と両査読者が異なった判定を下し、編集委員会でさらなる査読が必要と判断された場合のみ第2担当編集委員を選定する。第2担当編集委員は第1担当編集委員と相談し、メタレビューを行う。第2担当編集委員は原則として照会を行わない。

注4: (9)・照会后3カ月以内に回答がない場合、論文を取り下げたものとみなす。

・事務局は、著者の回答を、担当編集委員と2人の査読者に転送し、再査読を依頼する。査読者は、1カ月以内に、事務局に電子メール、FAX、郵送のいずれかにより査読報告を行う。事務局は査読報告を担当編集委員に転送する。この際、前回採否の判断を出していた査読者の判断の変更もできる。前回照会と判定した査読者は、必ず採録または不採録の報告をする。前回採否の判断を出していた査読者から1カ月以内に査読報告がない場合は、先の判断に変更なしと判断する。

会員の皆様へのお知らせ・お願い

● [平成9年度会費および論文誌購読費の納入について]

本年度の会費および論文誌購読費をまだご納入いただけていない会員（一括扱いを除く）の方へ、6月中旬に郵便振替用紙を発送いたしますので早急にご納入ください。

会費および購読費は前納を原則としております。

なお、7月末日までに納入いただけない場合には、9月から機関誌（学会誌・論文誌）の発送を停止させていただきます。後日ご納入いただいても、停止期間中の学会誌・論文誌をお送りできないこともあります。

・口座自動振替登録会員の方へ

3月に振替未済の方および新規申込の方は、7月28日（月）に振替をいたします。

残高をご確認いただき振替額不足にならないようご注意ください。

・一括扱い会員の方へ

本年度会費および論文誌購読費の請求を6月上旬に一括担当者宛にお送りいたしました。

一括扱会員は一括担当者を通してのご納入となりますので各担当者の指示に従いご納入ください。

● [会費および論文誌購読費の口座自動振替納入のご利用について]

個人会員（一括扱いを除く）の方は、銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、会費および論文誌購読費を毎年3月（または7月）27日（土日、祝祭日の場合は翌営業日）にご指定の口座から自動振替により納入することができます。次年度から自動振替を希望される会員の方は、下記申込方法をご参照のうえ11月末日までにお申込ください。

*** 申込方法 ***

(1) 銀行口座登録の場合

「預金口座振替依頼書」（Vol.38, No.3 会告 p.26 掲載）にご記入、ご捺印のうえ照会先へご郵送ください。

(2) 郵便口座登録の場合

お近くの郵便局に通帳、印鑑をご持参いただき郵便局備付けの「自動振込利用申込書」に必要事項（下記参照）をご記入のうえ窓口へ提出してください。

[記入方法]

振込先口座番号：00150 - 4 - 83484

振込先加入者名：社団法人 情報処理学会

払込開始月：毎年3月（または7月）

払込日：27日

払込金の種類：会費 33

料金等支払人：会員の住所、氏名、電話番号（口座名義人と同一の場合省略可）

備考：会員番号

● [会員登録データの変更連絡について]

4月以降、「転居先不明」「転送期間経過」「該当者なし」等の理由により機関誌が多数戻ってきています。送付先住所やその他登録データに変更が生じた場合には、速やかに「変更連絡届」（学会誌偶数月号巻末添付）等により照会先までご連絡ください（e-mail, Fax 可）。連絡の際には、必ず会員番号、氏名を明記してください。

また、会員の皆様への問い合わせ等は電話以外にe-mailを利用することが多くなりました。e-mailアドレスの登録にもご協力をお願いいたします。

照会先 社団法人 情報処理学会 会員係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

e-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

海外からの送金方法について

海外からの会費，論文誌購読費，各種行事参加費，各種図書購入費等については，クレジットカードによる送金をおすすめいたします。下記用紙にご記入の上ご郵送ください。(FAX 不可)

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN

Shibaura-Maekawa Bldg.7F, 3-16-20, Shibaura, Minato-ku Tokyo 108, JAPAN

Tel.:81-3-5484-3535 Fax.:81-3-5484-3534 e-mail:mem@ipsj.or.jp

I wish to pay with my credit card.

Check one: ☐ MasterCard ☐ VISA ☐ American Express ☐ Diners Club

(1) Card number _____

(2) Expiry date _____/_____/_____

(3) Full name of holder as it appears on the card _____

(Membership Number No. _____)

(4) Amount _____ Yen

(5) Detail (annual fees, Journal, etc.) _____

(6) Mailing address _____

(City) _____ (Postal Code) _____ (Country) _____

Tel. _____ Fax. _____

e-mail _____

Date _____/_____/_____

Signature _____

円またはドルの銀行小切手による送金の場合は，次の点にご注意願います。

1. 銀行小切手作成の手間がかかり，1,500 ～ 2,500 円の換金手数料が必要になる。
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により，常に過不足を生じ，経理上支障がある。

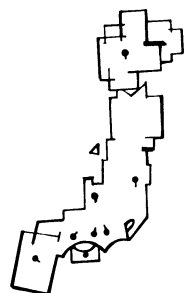
Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge of ¥1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to : Information Processing Society of Japan

Bank account no.046 - 1013945

Toranomon Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.

支部だより



情報処理学会支部連絡先

北海道支部 〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内
e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819 Fax(011)706-6819

東北支部 〒982 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学通信工学科内
e-mail:mkojima@titan.tohtech.ac.jp Tel(022)229-1151(ext.368) Fax(022)228-0447

東海支部 〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
e-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517 Fax(052)204-4521

北陸支部 〒921 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1 金沢工業大学内
e-mail:abe@infor.kanazawa-it.ac.jp Tel(0762)94-6708 Fax(0762)94-6709

関西支部 〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター内
e-mail:infor-soci@kiiis.or.jp Tel(06)346-2543 Fax(06)346-2443

中国支部 〒733 広島県広島市西区商工センター2-6-1 NTT 中国情報システムセンタ企画部門内
okamoto@sun1.hirosima.ish.cae.ntt.jp Tel(082)278-7902 Fax(082)501-0472

四国支部 〒790-77 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学工学部内
e-mail:yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9963 Fax(089)927-9973

九州支部 〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル
NTT データ通信(株)九州支社総務担当内
e-mail:murakami@csce.kyushu-u.ac.jp Tel(092)475-5123 Fax(092)475-5185

* 各支部の最新情報は <http://www.ipsj.or.jp> からリンクしています。

関西支部 平成9年電気関係学会関西支部連合大会講演募集案内

日 時 平成9年11月23日(日・祝)・24日(月・振替休日)

会 場 関西大学工学部(〒564 吹田市山手町3-3-35)

講演募集要領

講演の形式 シンポジウムおよび一般講演

資 格 主催学会会員(准員・学生員を含む)にかぎり(ただし、留学生については非会員でもよい)。共著者として会員以外の方を含んでも構いません。

講演内容 最近行った研究、またはあげた成果で、学術的に価値のある未発表のものに限り(ます)。

応募制限 講演は1人1件に限り(ます)。同一人が数件の応募論文に共著者として参加することは構いませんが、内容がきわめて類似したものを数件にわたって発表することは認められません。

講演時間 1件につき、シンポジウム30分程度、一般講演15分以内。ただし、各講演時間については、実行委員会が決定し、講演者に通知します。

申込みの取扱い (1) プログラム構成上の都合によっては、講演形式および部門を変更することがあります。

(2) 内容を不適当と認めた場合は採択しません。

(3) 一般講演ならびにシンポジウムにはOHPのみを準備します。

申込み/原稿送付期限 8月23日(土)必着のこと(郵送にかぎる)

講演部門

シンポジウム 題目未定

一般講演	G1 電気理論・電気物理	G11 電子回路・集積回路
	G2 計測・センサ	G12 情報基礎・情報科学
	G3 制御・システム・マイクロマシン	G13 計算機ハードウェア・計算機システム・ネットワーク
	G4 電気機器・産業応用・パワーエレクトロニクス	G14 人工知能・知識システム・認知科学
	G5 電力・エネルギー	G15 ソフトウェアシステム・データベース
	G6 電気電子材料	G16 メディア処理と応用
	G7 光・レーザ応用	G17 照 明
	G8 電磁波・通信システム	G18 テレビジョン・ディスプレイ
	G9 電子デバイス・材料	G19 画像エレクトロニクス
	G10 光・量子エレクトロニクス	G20 音 響

注1) G7の「光・レーザ応用」については、同位体分離、レーザ加工、医療レーザ、電力用光通信システムなどに関するものです。

注2) G20の「音響」については、音声・聴覚・電気音響(機器・信号処理を含む)・超音波・建築音響・騒音・振動・音楽などに関するものです。

講演申込金 正会員3,000円、准員・学生員2,000円、留学生1,000円

[大会参加費(正会員1,500円、准員・学生員1,000円、留学生500円)を含む。]

申込み/原稿提出

(1) 次の要領で請求票を作成し、返信用切手90円を添えて実行委員会あてに郵送により申込み、折返し「講演申込書」「講演原稿の書き方」「振替用紙」などを送付します。請求票の大きさは縦5cm、横15cmとし、

- a) 「講演申込書」など一式の請求部数
- b) 氏名およびふりがな、勤務先および電話番号
- c) 送付先住所、勤務先、および氏名

の順に書いてください。なお、c) の送付先欄はそのまま「講演申込書」などの郵送宛名に使用しますので、正確に記入してください。

- (2) 論文原稿のページ数は、各シンポジウム、一般講演とも1ページを原則とします。各自作成のA4サイズ・ワープロ原稿をそのまま論文集の原稿として使用しますので、「講演原稿の書き方」に従って作成してください。論文不採択の場合、講演申込金は返金します。
- (3) 講演論文は日本語または英語で作成してください。
- (4) 「講演申込書」(オリジナルとコピー4部)に必要な事項を記入し「論文原稿」(オリジナルとコピー4部)とともに8月23日(土)までに必着するように送付してください。「論文採択通知用ハガキ」には返信用の50円切手を必ず貼付してください。申込後ただちに講演申込金を所定の振替用紙(1件1枚厳守)を用いて通信欄に必要な事項(論文題目など)を記入のうえ送金してください。

申込み/原稿送付先 〒564 吹田市山手町 3-3-35 関西大学工学部電気工学科内
電気関係学会関西支部連合大会実行委員会

照会先 論文作成関連 : 隈元 昭 Tel(06)368-0840 関西大学工学部電気工学科
その他一般事項: 原 武久 Tel(06)368-0911 関西大学工学部電気工学科

表彰 本年度も、会員の育成と当該学会の発展を目的として、優秀な講演発表を行った新進の研究者・技術者に下記の賞を贈呈します。

- (1) 連合大会奨励賞 シンポジウムおよび一般講演全部門を対象とします。
- (2) 電気学会論文発表賞 電気学会関係一般講演部門(G1~G7)を対象とします。

参考 (1) 採択された講演論文はオフセット印刷し、論文集として発行します。
(2) 講演者には大会の次第書および参加章を送付します。
(3) 論文はJICSTのデータベースに登録を予定しています。

主催 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会・照明学会・映像情報メディア学会・日本音響学会各関西支部

九州支部 電気関係学会九州支部第50回記念連合大会講演募集

日時 平成9年10月3日(金)、4日(土)

会場 琉球大学 共通教育棟(〒903-01 沖縄県中頭郡西原町字千原1)

講演者 主催学会会員に限る(当支部所属に限らない)

講演内容 最近行った研究、計画および工事報告、現地試験報告、新製品の紹介など。

講演方法 (1) 1件10分以内、ただし都合で多少短縮することがある。

なお、講演募集の結果によっては然るべき件数を選択してシンポジウム形式の講演とすることがある。

- (2) OHPによる講演を原則とする。スライドの使用は不可。

申込方法 (1) 原稿はかならず当会所定の「原稿用紙」を使用すること。(オフセット印刷、図面・表を含む1頁とする)

- (2) 「原稿用紙」「講演申込書」は申し出により交付。「原稿用紙」等: 1部 100円

郵送の場合は、1部250円、2部以上のときは1部増すごとに150円増の郵便切手を送付のこと。

- (3) 締切日: 7月28日(月) 17:00 「原稿」「講演申込書」は締切日までに必着のこと。

申込費 講演1件につき4,000円(講演者には論文集を1部大会当日受付にて贈呈する。別刷の申込みには応じない)
なお、振替郵便で講演申込費を支払いをされる方は、論文申込時に振替払込書の受領書のコピーを必ず同封のこと。

申込先 〒812-81 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学大学院 システム情報科学研究科電気電子システム工学専攻内
電気関係学会九州支部連合会 Tel(092)642-3960 Fax(092)631-2790 振替口座番号 01780-2-33001

主催 電気関係学会九州支部連合会

(電気学会・電子情報通信学会・映像情報メディア学会・照明学会・情報処理学会 各九州支部)

人材募集



●福岡教育大学数学科

募集人員 講師または助手 1 名
 専門分野 数理情報
 担当科目 情報関連の講義・実習および数学関連の基礎科目の講義・演習（線形代数，微分積分など）
 応募資格 昭和 40 年 4 月 1 日以降生まれで大学院修士課程修了またはこれに準ずる（博士の学位を有することが望ましい），数学科内の情報システムの管理・運営に携われる方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 応募書類 履歴書（自筆），業績書，業績の別刷，健康診断書，最終学校卒業証明書，推薦書．（規定用紙があるので問い合わせること）
 応募締切 平成 9 年 7 月 18 日（必着）
 送付先 〒 811-41 福岡県宗像市赤間 729-1 福岡教育大学長
 照会先 人事第一係 Tel(0940)35-1205
 その他 必要に応じて面接あり

●新居浜工業高等専門学校電子制御工学科

募集人員 助手 1 名
 応募資格 情報工学，計算機工学，制御工学，電子工学のいずれかを専門とし，実験を担当できる方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書，業績リスト（論文，口頭発表など），主要論文別刷（コピー可），着任後の教育・研究に対する抱負（1,000 字以内），推薦書（学位所得見込みに関する内容を含む）
 応募締切 平成 9 年 7 月 31 日
 送付先 〒 792 愛媛県新居浜市八雲町 7-1 新居浜工業高等専門学校 庶務課人事係
 「教官応募書類」と朱書き書留
 照会先 電子制御工学科 主任 武富大児 e-mail:taketomi@ect.niihama-nct.ac.jp Tel(0897)37-7764

●北見工業大学

募集人員 助教授 1 名
 専門分野 情報工学
 応募資格 博士の学位を有し，大学院後期課程を担当でき，情報科学概論および大学院関連科目を担当できる方
 着任時期 平成 9 年 10 月 1 日以降平成 10 年 3 月 31 日までのなるべく早い時期
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，著書および論文別刷（コピー可），現在までの研究経過と着任後の研究計画（1,500 字以内）
 応募締切 平成 9 年 8 月 15 日（必着）
 送付先 〒 090 北海道北見市公園町 165 北見工業大学情報処理センター 助教授選考委員会委員長
 「応募書類」と朱書き書留
 照会先 情報システム工学科長 柴田孝次 e-mail:shibata@info.kitami-it.ac.jp Tel(0157)26-9329
 Fax(0157)26-9344

●茨城大学工学部情報工学科

募集人員 教授または助教授 1 名, 助教授または講師 1 名
所 属 情報科学講座
専門分野 ソフトウェアの基礎的分野または情報工学の主要な分野
応募資格 情報工学または関連分野における博士号を有する方。教授については大学院博士後期課程の学生指導可能な方。
着任時期 平成 10 年 4 月 1 日まで
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 学術論文別刷, 研究計画, 本人についての所見を求め得る 2 名の方の氏名, 所属, その住所, 職名, 電話番号
応募締切 平成 9 年 8 月 31 日
送付先/照会先 〒 316 茨城県日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学工学部情報工学科 学科長 岸 義樹
Tel/Fax(0294)38-5141 「応募書類在中」と朱書

●和歌山大学システム工学部情報通信システム学科/デザイン情報学科

募集人員 教授または助教授 若干名
専門分野 (1) 情報工学, 計算機工学, とくに認知科学, 情報通信など
(2) デザイン基礎学, メディア情報設計, コンピュータ支援設計
応募資格 博士後期課程の研究指導が可能な方
着任時期 平成 10 年 4 月から平成 11 年 4 月までの適当な時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (コピー可) と要旨 (各 200 字程度), 現在までの研究の概要の説明 (様式自由), 今後の教育・研究に対する抱負 (1,000 字以内), 本人に関する所見を求め得る 2 名の方の氏名および連絡先
応募締切 平成 9 年 9 月 9 日
送付先/照会先 〒 640 和歌山県和歌山市栄谷 930 和歌山大学システム工学部情報通信システム学科
主任 國枝義敏 e-mail:kunieda@sys.wakayama-u.ac.jp Tel(0734)54-0361(ext.5201)
Fax(0734)54-0134 「教官応募書類」と朱書き書留

●近畿大学工学部経営工学科

募集人員 専任教員 (助教授または講師) 1 名
専門分野 情報工学
応募資格 経営工学に対し十分な認識をもち, 博士の学位を有する 40 歳までの方
着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷 (コピー可), 研究・教育に取り組む基本的な考え方 (800 字程度)
応募締切 平成 9 年 9 月 15 日
送付先/照会先 〒 737-01 広島県呉市広古新開 5-1-3 近畿大学工学部 経営工学科長 天田三郎
Tel(0823)71-9171(ext.211)

●津山工業高等専門学校情報工学科

募集人員 助手 1 名
 専門分野 情報工学およびその関連分野
 応募資格 博士の学位を有することが望ましい（見込み含む）30 歳以下の方で、高専の教育・学術研究に強い意欲があり、学生指導にも理解と熱意をもつ方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書（自筆）、研究業績リスト、主要論文別刷（コピー可）、推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名
 応募締切 平成 9 年 9 月 30 日
 送付先 〒708 岡山県津山市沼 624-1 津山工業高等専門学校 庶務課人事係
 Tel(0868)24-8212 Fax(0868)24-8219 「教官応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 情報工学科 学科主任 岩城 嵩
 e-mail:iwaki@tsuyama-ct.ac.jp Tel(0868)24-8280 Fax(0868)24-8247

●鳥羽商船高等専門学校制御情報工学科

募集人員 助手 1 名
 専門分野 情報工学
 担当科目 情報、通信関係
 応募資格 大学院修士課程修了者（見込み含む）で博士学位取得が見込まれる 28 歳以下の方で、高等専門学校の教育・研究・学生指導に熱意をもつ方
 提出書類 履歴書（自筆）、業績一覧表（研究論文、著書、研究発表など）、主要論文別刷、教育経験歴（社内教育などを含む）、高等専門学校における教育に関する抱負（1,000 字以内）、推薦書
 応募締切 平成 9 年 9 月 30 日
 送付先 〒517 三重県鳥羽市池上町 1-1 鳥羽商船高等専門学校 庶務課人事係
 「情報教官応募」と朱書き書留
 照会先 制御情報工学科 主任 藤原真彦 e-mail:fujiwara@toba-cmt.ac.jp Tel(0599)25-8083

●防衛大学校情報工学科

募集人員 (1) 教授または助教授 1 名, (2) 助手 2 名
 専門分野 (1) オペレーティングシステムおよびデータベースなどのソフトウェアに関する分野
 (2) 情報セキュリティおよび人工知能に関する分野
 提出書類 履歴書、研究業績など
 応募締切 平成 9 年 9 月 30 日
 送付先 〒239 神奈川県横須賀市走水 1-10-20 防衛大学校情報工学教室 教室主任 古賀義亮
 Tel(0468)41-3810(ext.2280)

●(財)京都高度技術研究所平成 10 年度研究員

募集人員 若干名
 専門分野 ネットワーク、並列計算機、メカトロニクス、情報メディア、画像データベース
 応募資格 大学卒業以上の方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書
 照会先 〒600 京都府京都市下京区中堂寺南町 17 (財)京都高度技術研究所事務局 人事担当 Tel(075)315-3625

平成 9 年度役員

会 長	戸田 巖			
副 会 長	高橋 延匡	堀越 彌		
先任理事	片岡 信弘	上林 彌彦	白鳥 則郎	
	杉本 和敏	杉山 公造	諏訪 基	
	藤林 信也	牧之内顕文	村上 憲也	
後任理事	片岡 雅憲	剣重 壽和	坂井 邦夫	
	阪田 史郎	鈴木 健二	東田 正信	
	水野 忠則	宮原 秀夫		
監 事	千葉 常世	林 弘		
支 部 長	青木由直 (北海道), 曾根敏夫 (東北)			
	後藤宗弘 (東海), 服部進実 (北陸)			
	堂下修司 (関西), 斎藤 薫 (中国)			
	高松雄三 (四国), 松尾文碩 (九州),			

(実務分野)

佐藤 和夫	笠野 章	青沼 充
穴南 武志	石丸 知之	稲葉慶一郎
圓丸 哲朗	國枝 正治	小寺 誠
篠原 健	高木 成彦	高木 正博
高橋 富夫	竹井 和昭	湯浅 敬
吉光 宏		

(書評・ニュース分野)

糸野 文洋	中野 恵一	秋葉 友良
梅木 秀雄	大喜多秀紀	大久保隆夫
黄瀬 浩一	酒井 義文	杉山 敬三
田島 玲	田中 淳裕	塚田 恭章
難波 康晴	山田 武士	山本 幹雄
吉田 明正	吉田 仙	

論文誌編集委員会

学会誌編集委員会

委 員 長	諏訪 基			
副委員長	鈴木 健二			
委 員	(基礎・理論分野)			
	武田 浩一	牧野 光則	阿久津達也	
	麻生川 稔	伊藤 誠	遠藤 靖典	
	菊地 誠	木下 聡	白柳 潔	
	鈴木 克志	高野 明彦	中野 浩嗣	
	中野 幹生	中村 篤祥	中村 裕一	
	新田 徹	藤瀬 哲朗	藤田 聡	
	堀内 靖雄	山崎 浩一		
	(ソフトウェア分野)			
	木谷 強	市川 哲彦	和泉 秀幸	
	岩崎 正明	岡本 秀輔	落合 民哉	
	掛下 哲郎	加藤 光幾	中本 幸一	
	浜田 雅樹	端山 毅	増井 俊之	
	緑川 博子	森 健	森本 康彦	
	和田 英彦			
	(ハードウェア分野)			
	山崎 憲一	片山 泰尚	浦中 洋	
	川村 善久	工藤 知宏	郡 光則	
	児玉 祐悦	小室 浩	清水 尚彦	
	末吉 敏則	関田 大吾	高田 広章	
	田宮 豊	花田恵太郎	養原 隆	
	山内 宗	湯川 高志		
	(アプリケーション分野)			
	工藤 育男	浦谷 則好	相澤 彰子	
	厚川 美和	石井 裕	岡田 守	
	小田 利彦	勝本 道哲	古崎 博久	
	木幡 寛	三部 靖夫	椎尾 一郎	
	重野 稔	鈴木 卓治	田野 俊一	
	辻 洋	中川 晋一	仲谷 善雄	
	中村 達	萩原 洋一	林 良彦	
	平賀 譲	増田 健	宮田 一乗	
	森島 繁生	吉田 裕之		

委 員 長
副委員長
委 員

白鳥 則郎			
宮原 秀夫			
(基礎グループ)			
宮野 悟	森下 真一	浅野 孝夫	
伊庭 齐志	大沢 英一	久保田光一	
坂部 俊樹	佐藤 和洋	菅原 秀明	
仙波 一郎	中川 裕志	野寺 隆	
長谷川秀彦	平田 富夫	真鍋 義文	
元吉 文男			
(ソフトウェアグループ)			
大須賀昭彦	谷口 秀夫	阿草 清滋	
井上 潮	井宮 淳	大西 淳	
甲斐 宗徳	金田 康正	木下 哲男	
木下 俊之	清水 康	多田 好克	
谷口 健一	田村 恭久	塚本 昌彦	
徳永 健伸	深海 悟	福田 見	
横田 一正	吉田 敬一	米田 友洋	
(ハードウェアグループ)			
笠原 博徳	中島 克人	坂井 修一	
酒井 浩	佐藤 政生	白川 洋充	
庄内 亨	末吉 敏則	妹尾 義樹	
曾和 将容	高橋 直久	中島 浩	
成瀬 正	平木 敬	本多 弘樹	
増田 英司	松永 裕介	村上 和彰	
森 眞一郎			
(アプリケーショングループ)			
北橋 忠宏	安田 孝美	有澤 博	
石崎 俊	岡田 謙一	小嶋 弘行	
柴田 義孝	菅野 政孝	高木 利久	
滝沢 誠	谷口倫一郎	中川 聖一	
中川 正樹	林 幸雄	速水 治夫	
平川 秀樹	藤代 一成	星 徹	
松永 俊雄	山田 敬嗣	渡辺 豊英	
アドバイザテクニカルライティング			
M.J.マクドナルド F.M.キッシュ			

情報処理学会機関誌原稿執筆案内

*1984 年12 月改訂
1986 年12 月改訂
1988 年 3 月改訂
1990 年 3 月改訂
1991 年 3 月改訂
1992 年 9 月改訂
1994 年 4 月改訂
1995 年 5 月改訂
1996 年 1 月改訂
1997 年 1 月改訂
1997 年 6 月改訂

本学会は学会誌「情報処理」、論文誌「情報処理学会論文誌」の2 種類の機関誌を発行している。学会誌「情報処理」は新しい技術動向をはじめとする種々の情報を掲載し、会員の知識の向上をはかるものであり、論文誌は会員の研究発表の場である。

本案内は学会論文誌の原稿執筆要領をまとめたものである。執筆上の手引きとして利用していただきたい。

「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内

論文誌発行の目的

論文誌は会員の研究成果の発表およびこれに関連する議論の場を提供するために刊行される。

論文誌の掲載記事

論文誌の記事は会員が自発的に執筆し投稿するもので、論文、テクニカルノートおよび誌上討論の3 種類がある。

論文誌は学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値のあるもの。

テクニカルノート

新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。

誌上討論

掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。

論文誌に掲載された論文または採択された論文と内容が同一の投稿原稿は採録しない。採録後に二重投稿の事実が判明した場合は、採録取消もありえる。ただし、本論文誌に掲載されたテクニカルノートをもとに発展、充実させたものはその限りではない。

投稿者は原則として本学会会員に限る。寄稿者が連名の場合は、少なくとも1 名は本学会会員でなければならない。

(4) 掲載記事の内容についての最終責任は著者が負うものとする。

3. 投稿手続

(1) 投稿原稿は日本語あるいは英語で、第1 表に示す刷上標準ページ数に収まるように記述することが望ましい。

(2) 投稿原稿の形式は、6. 記載の「論文投稿形式」に従わなければならない。ただし、誌上討論に関しては形式は自由とする。

(3) 投稿原稿に対し学会は、受付日と受付番号を付した原稿受領書を発行する。投稿原稿の問合せなどは、以後、この受付番号で行うものとする。

(4) 原稿の送付先および問合せ先は下記の学会事務局とする。

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
(社)情報処理学会 論文誌係
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

4. 投稿原稿の取扱い

(1) 論文誌への掲載は論文誌編集委員会で決定し、その採否を投稿者に通知する。

(2) 論文とテクニカルノートは、査読委員による審査過程を経る。論文の場合、著者に照会し回答を求めたうえで、改めて審査を行い採否を決定することがある。

(3) 採録が決定した論文、テクニカルノートは、委員

第1 表 論文誌の投稿記事種目

種 目	内 容	刷上標準 ページ数	ワープロによる 和文記事原稿枚数	英文記事語数
論文	学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値のあるもの。	8 以内	24	6,000
テクニカル ノート	新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。	2*	6	1,500
誌上討論	掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。	1	3	750

稿枚数、語数はタイトルや図表などすべてを含めた数値
ワープロの場合の原稿用紙 (24×26 行= 624 字)
文記事は刷上 1 ページあたり約 750 語

* 上限 4P

第2表 論文誌別刷価格表 (単位: 円)

ページ数 部数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
100	11,000	22,000	33,000	44,000	55,000	66,000	86,000	106,000	136,000
200	12,000	23,000	34,000	45,000	56,500	67,500	87,500	107,500	137,500
300	13,000	24,000	35,000	46,000	58,000	69,000	89,500	109,500	139,500
400	14,000	25,000	36,000	47,000	59,500	70,500	91,500	111,500	141,500
500	15,000	26,000	37,000	48,000	61,000	72,000	93,500	113,500	143,500

なお、8ページを越えるときは100部の場合で、1ページにつき30,000円加算する。カラーの場合は1ページあたり通常の4ページ分と換算する。消費税は別途請求する。

会翌月の学会誌上にその旨を発表する。また、論文誌に掲載する際には、末尾に、原稿受付日及び採録決定日を付記する。

- (4) 照会は、部分的に論旨が不明な点、あるいは、錯誤と思われる箇所についての問合せを主眼として行う。照会は原則として1回とする。照会への回答は書面で行う。場合によっては質問事項に関連して原稿に手を加えることができる。この場合、変更箇所と変更理由を明示しなければならない。回答期限は3カ月以内で、これを経過した場合は、取り下げたものとみなす。
- (5) 不採録と決定した原稿は、不採録理由を付して著者に返却する。
- (6) 投稿論文およびテクニカルノートは、次の場合に不採録とする。
 - (a) 既発表または周知のものから容易に類推される内容である。
 - (b) 内容が不十分で、読者の参考にならないと考えられる。
 - (c) 本質的な誤り、または、客観的に認知できない記述がある。
 - (d) 文章表現や構成において問題があり、軽微の修正で改善の見込みがない。あるいは、内容に比べて著しく冗長である。
 - (e) 本学会と関連性が薄い分野の論文である。
 - (f) その他編集委員会が不適当と判定したもの。
- (7) 著者は投稿原稿を取り下げることができる。この場合、書面で論文誌編集委員会に申し出なければならない。

5. 掲載決定通知、別刷等

- (1) 投稿原稿の採録が決まると、採録決定通知を投稿者に送付する。この時点で、電子入稿のための案内を同封するので、その指示に従い、最終原稿を提出すること。
- (2) 採録原稿の掲載号が決まると、掲載決定通知を投稿者に送付する。
- (3) 学会は誤植防止のために著者に校正刷りを送る。校正の際の原稿及び図面の変更は認めない。
- (4) 著者から誤謬訂正の申し出があった場合、正誤表を最近号に掲載する。事情により有料となることがある。
- (5) 掲載された論文、テクニカルノートの著者は、これらの別刷を100部以上買いとらなければならない。価格は第2表による。著者校正の際、同封の別刷申込

書に必要事項を記入の上、校正結果とともに返送しなければならない。

- (6) 提出された原稿および媒体は返却しない。
- (7) 掲載論文のアブストラクトは学会誌に掲載する。著者の申し出により、学会のホームページ上(URL: <http://www.ipsj.or.jp>)にも掲載する。さらに著者のホームページと学会のホームページをリンクし、著者の関連情報も公開する。ただし、著者が当該論文全文を著者ホームページ上に掲載した場合は、リンクをはずす。

6. 論文投稿形式

6.1 投稿原稿の構成

論文誌への投稿原稿は、次の①～⑩により構成する。(①～⑩でオリジナル原稿一式とする)

- ① 標 題: 和英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和文はなくてもよい。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。
- ② 著者名・所属: 氏名、所属を和英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和文はなくてもよい。共著の場合、著者と所属機関の対応を明示すること。また、会員・非会員の別(会員の場合は会員番号も)、著者連絡先(住所、電話番号(内線)、e-mail等。複数著者の場合は連絡担当者に*印を付すこと)、ワープロ等の場合論文作成手段(機種およびソフト名)を用紙の下部に明記すること。(6.2 参照)
- ③ 和文アブストラクト: 600字(テクニカルノートは300字)以内。英文論文の場合は不要。
- ④ 英文アブストラクト: 200語(テクニカルノートは100語)以内。
- ⑤ 本 文:
- ⑥ 謝 辞: 必要ならば付けてもよいが、できるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。
- ⑦ 参考文献: 研究内容に関連して文献を引用する場合、関連する本文中の箇所の右肩に参考文献番号を書き、末尾にその文献をまとめて記述する(6.4 参照)。引用文献は、すでに刊行物に掲載されているか、あるいは掲載が確定している文献に限る。
- ⑧ 付 録: 長い数式の誘導の過程や、実験装置などの詳細な説明を本文に挿入すると論旨が不明瞭になる場合、付録を設けてよい。
- ⑨ 図(6.4 参照)
- ⑩ 表(6.4 参照)

i.2 投稿原稿の様式

情報処理学会論文誌投稿用のスタイルファイル(以下、単にスタイルファイルという)に従ってLaTeXで書式付けされた原稿を基本とする。その他のワープロ等で作成した原稿も受け付ける。

① LaTeXで作成する場合には、スタイルファイルに付属した説明書に従って①～⑩を記述し、注意事項を守ること。使用できるフォントや組み込むことのできるポストスクリプトファイル(図表等)の形式には制限がある。注意事項が守られていない場合には処理ができずやむを得ず返却することがある。

スタイルファイルの請求方法は anonymous ftp によって、ftp://ftp.ipsj.or.jp または電子メール guide@ipsj.or.jp にて案内されている。学会ホームページ URL-http://www.ipsj.or.jp にも案内されている。インターネットにアクセスすることができない場合は学会に問い合わせること。

② 原稿をワープロ等で作成する場合は、A4 判またはレターサイズ(8.5" × 11")の用紙を使用し、片面打ちとする。字詰は以下にすること。
和文：24 字 × 26 行
英文：ダブルスペースで、1 ページあたり約 250 語。
大見出しは 2 行どりとする。

①～⑩は別用紙に、必ず用紙を改めて記述すること。

.3 投稿原稿の提出形式

原稿を投稿する際は、次の(A)～(D)を必要とする。不足がある場合は受け付けない。

- A) 紙出力の原稿(オリジナル)一式(①～⑩)
- B) キーワード・チェックリスト 2 部：情報処理学会所定のもの(4～8 頁または 8～12 頁をコピーして利用のこと)。
- C) (A)のコピー 1 部(①～⑩)
- D) (A)のコピー 2 部(ただし査読用として、②著者名・所属および⑥謝辞を除いたもの。)(LaTeX のときは①、②、③④、⑤⑦⑧⑨⑩、⑥がそれぞれ別々に出力される。)

.4 原稿執筆上の一般的注意事項

- 1) 専門用語については、簡単な用語解説を添付することが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず説明をつける。
- 2) 参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順にする。次の例を参照にされたい。
- 4) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6～10(1960)。
- 5) Feldman, J. and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp77-113(1968)。
- 7) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京(1991)。
- 8) Wilkes, M. V.: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York(1990)。

寸法(mm)	ワープロ原稿の場合の行数 (24 字 × 26 行)
A. 50 × 34	6 行
B. 67 × 50	13 行
C. 100 × 67	26 行
D. 134 × 100	39 行

(3) 図(モノクロ写真およびカラー写真を含む)および表には、図 1 および表 1 のような通し番号と名称を和文と英文でつける。ただし、英文論文の場合は和文はなくても良い。英文はその図や表の内容が本文を参照しなくても理解できるよう配慮する。

LaTeX による場合、図表は、ポストスクリプトファイル等を組み込むことも可能。組み込むファイルの形式はスタイルファイルの説明を参照のこと。

紙に描いた図表原稿を提出する場合には、図・表は著者の提出したものを、そのまま印刷するので、下記要領により、黒インキでトレースするか、あるいは同等の画質があるものを提出すること。①刷り寸法の 2 倍大にきれいに書き、文字、記号などは明瞭に記入する。②図・表を入れる場所は、原稿用紙の欄外に明記すること。③表はできる限り簡潔に作成し、長い表は、途中を省略するか、あるいは、直接製版できる原稿にする。④図・表原本には、裏面に鉛筆で著者名と図番を記入すること。

図・表のでき上り寸法と行数または枚数の換算は次のとおりである。

- (4) 数字、ローマ字、ギリシャ文字、記号などは特に明瞭に記載する。大文字・小文字、上つき、下つきの別、×(かける)とX(エックス)の別など。
- (5) 句読点は“.”および“,”を用い、それぞれ 1 画(1 字分)を用いる。
- (6) 数式は印刷に便利なよう注意する。文中に式を挿入する場合には a/b, exp(t/r) のような記法を用いる。独立した数式は 1 行につき原稿用紙の 2 行または 3 行のスペースを取って書く。数式も文の一種であるから、原則として末尾に“,”または“.”を付す。ただし、プログラム言語の形式を利用する場合には、この限りではない。
- (7) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。
- (8) 原稿中にあとから文章、文字などを挿入する時は、挿入する文章や文字を欄外に明瞭にしるし、かつ挿入する箇所を、∨または∧(朱書)で示す。
- (9) 脚注は、☆、☆☆、☆☆☆などの記号で示し、本文中そのすぐ下に横線ではさんで記入し、脚注と朱書する。
- (10) 文中の記号で太字を使用の場合は、その記号の下に～を朱書し、イタリック体(斜体)使用の場合はその文字の下に朱書でーと指定する。

LaTeX で使用できるフォントの種類はスタイルの説明を参照すること。それ以外のフォントを使用したときには、予期しないできあがりとなることがある。

キーワード（論文誌投稿用）

[寄稿者用]

(1) あなたが寄稿する原稿の内容に最も関係の深い項目（1つ）に◎印，関係する項目（複数個も可）に○印を付けてください．

大項目	中項目	小項目 () は該当項目のないときに分野名を記入
001 基礎理論と基礎技術	01 情報数学	01 形式論理, 02 オートマトン理論, 03 言語理論, 04 計算可能性の理論, 05 計算の複雑さ, 06 グラフ理論, 07 組合せ理論, 08 符号理論, 09 情報処理理論, 10 ベトリネット, 99 その他 ()
	02 非線形力学	01 カオス, 02 フラクタル, 99 その他 ()
	03 アルゴリズム理論	01 離散アルゴリズム, 02 データ構造, 03 並列・分散アルゴリズム, 04 確率アルゴリズム, 05 近似アルゴリズム, 06 計算幾何学, 07 探索アルゴリズム, 08 計算代数学, 09 計算的学習理論, 10 数式処理, 11 浮動小数点処理, 99 その他 ()
	04 オペレーションズリサーチ	01 線形・非線形計画法, 02 動的計画法, 03 整数計画法, 04 ゲーム理論, 05 待ち行列理論, 06 ネットワーク理論, 99 その他 ()
	05 確率・統計	01 推定・検定, 02 確率モデル, 03 統計・確率計算, 04 多変量解析, 05 時系列解析, 99 その他 ()
	06 数値計算	01 誤差解析, 02 関数近似, 03 補間, 04 線形方程式, 05 非線形方程式, 06 固有値問題, 07 数値微分, 08 数値積分, 09 常微分方程式, 10 偏微分方程式, 11 積分方程式, 12 極値問題, 13 特殊関数, 14 乱数, 99 その他 ()
	07 数値シミュレーション	01 有限要素法, 02 差分法, 03 境界要素法, 04 モンテカルロ法, 05 粒子シミュレーション, 06 可視化, 99 その他 ()
	08 高性能計算	01 並列化, 02 ベクトル化, 03 性能評価, 99 その他 ()
002 人工知能と認知科学	01 知識処理	01 探索, 02 定理自動証明, 03 推論方式, 04 知識表現, 05 知識獲得, 06 知識ベース, 07 非単調論理, 08 ファジイ推論, 09 不確実性処理, 10 学習, 11 理解・識別論, 12 分散・協調 AI, 99 その他 ()
	02 人工知能システム	01 エキスパートシステム, 02 エキスパートシステム構築ツール, 03 ゲームプログラム, 04 知能ロボット, 05 知的インタフェース, 99 その他 ()
	03 自然言語処理	01 機械翻訳, 02 形態素解析, 03 構文解析, 04 意味解析, 05 文生成, 06 談話理解, 07 文法, 08 辞書, 09 言語理論, 10 言語行動, 11 言語資料・統計, 12 言語データベース, 13 文脈解析, 14 知識表現, 99 その他 ()
	04 生体情報処理	01 視覚, 02 聴覚, 03 神経モデル, 04 サイバネティクス, 05 自己組織化, 06 ニューラルネット, 07 遺伝的アルゴリズム, 08 人工生命, 99 その他 ()
	05 感性情報処理	01 心理モデル, 02 行動モデル, 03 感情モデル, 04 ヒューマンインタフェース, 05 映像, 06 音楽, 99 その他 ()
003 メディア情報処理	01 音声言語情報処理	01 音声分析・加工, 02 音声インタフェース, 03 音声認識・理解, 04 音声合成・テキスト音声変換, 05 音声対話・翻訳, 06 話し言葉の解析・生成, 07 話者・言語識別, 08 言語モデル・音声言語コーパス, 09 音声応用, 99 その他 ()
	02 画像信号処理	01 画質改善, 02 帯域圧縮, 03 符号化, 04 リモートセンシング, 99 その他 ()
	03 画像・図形認識	01 画像理解, 02 物体認識, 03 文字認識, 04 パターン認識, 05 図面認識, 06 コンピュータビジョン, 07 ロボットビジョン, 08 視覚モデル, 09 3次元形状復元, 10 3次元画像処理, 11 色彩画像処理, 12 画像データベース, 13 ステレオ画像解析, 14 動画画像処理, 99 その他 ()
	04 コンピュータグラフィクス	01 CG システム, 02 CAD/CAM, 03 形状モデリング, 04 レンダリング, 05 可視化, 06 アニメーション, 07 モーション, 08 ステレオ表示, 09 仮想現実感, 10 デザイン, 11 画像データベース, 99 その他 ()
	05 テキスト処理	01 ワードプロセッシング, 02 日本語入出力, 03 文書処理, 04 卓上出版, 05 フォントデザイン, 06 SGML, 07 パターン照合アルゴリズム, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目 ()は該当項目のないときに分野名を記入
03 メディア情報処理	06 メディア処理装置	01 ディスプレイ装置, 02 ハードコピー装置, 03 文字読取装置, 04 画像入出力装置, 05 画像処理プロセッサ, 06 音声入出力装置, 99 その他 ()
	07 マルチメディア処理	01 マルチメディア, 02 ハイパメディア, 99 その他 ()
04 ソフトウェア	01 基礎理論	01 プログラム理論, 02 オペレーティングシステム理論, 03 形式的意味論, 04 算法論理, 05 検証理論, 06 カテゴリ理論, 07 属性文法, 08 計算パラダイム, 09 プログラム合成・変換, 99 その他 ()
	02 プログラミング言語と仕様記述	01 手続き型言語, 02 論理型言語, 03 関数型言語, 04 オブジェクト指向言語, 05 並列処理言語, 06 システム記述言語, 07 数式処理言語, 08 シミュレーション言語, 09 仕様記述言語, 10 第四世代言語 (4GL), 99 その他 ()
	03 言語処理系	01 構文解析, 02 コード生成, 03 最適化, 04 コンパイラ, 05 インタプリタ, 99 その他 ()
	04 ツール	01 エディタ, 02 デバッガ, 03 ベリファイヤ, 04 コンパイラジェネレータ, 99 その他 ()
	05 ウィンドウシステム	01 ユーザインタフェース管理システム, 99 その他 ()
	06 オペレーティングシステム	01 記憶管理, 02 入出力管理, 03 障害管理, 04 通信管理, 05 ファイル管理, 06 ジョブ・タスク管理, 07 自動運転管理, 08 並列分散処理, 09 システム管理, 10 例外処理, 11 性能評価, 12 リアルタイム OS, 13 マルチメディア OS, 14 分散・並列 OS, 99 その他 ()
	07 プログラミング技術	01 データ構造, 02 ガーベッジコレクション, 03 ハッシング, 04 ソーティング, 05 サーチング, 06 ベクトル化, 07 並列化, 08 記号処理, 09 計算のモデル, 10 プログラミング工程, 11 支援環境, 12 プログラミングパラダイム, 13 ビジュアルプログラミング, 99 その他 ()
05 データベース	01 データベース	01 データモデル, 02 データベース言語・DBPL, 03 データベース設計, 04 一貫性制約, 05 データベース管理システム, 06 質問処理, 07 トランザクション管理, 08 DB 構成 (編成・アクセス法), 09 信頼性・障害管理, 10 並列・超並列 DB, 11 OLTP, 12 分散・マルチ DB, 13 データベース OS, 14 性能評価, 15 マルチメディア DB, 16 演繹 DB, 17 オブジェクト指向 DB, 18 オフィス DB, 19 エンジニアリング DB, 20 文書 DB, 21 画像 DB, 22 音声 DB, 23 地理 DB, 24 データディクショナリ・リポジトリ, 25 DB アプリケーション (システム, 開発環境), 26 DB システム技術 (データ分析・設計・構築・運用), 27 ハイパテキスト, 28 ハイパメディア, 29 データベースマシン, 99 その他 ()
	02 情報学基礎	01 情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02 概念体系, 03 用語, 04 辞書, 05 シソーラス, 06 大量情報の知識化, 07 知識発見, 08 自己組織化, 09 全文 DB, 10 文書 DB, 11 情報検索システム, 12 情報資源管理, 13 遺伝子情報処理, 14 図書館情報学, 99 その他 ()
06 ソフトウェア工学	01 開発技術	01 要求獲得・分析法, 02 仕様記述法, 03 設計法, 04 プログラミング方法論, 05 プロトタイピング, 06 実行可能仕様, 07 部品化・再利用技術, 08 ドメイン分析・モデリング, 09 プログラム自動合成, 10 OOA/OOD, 11 代数的仕様, 12 リバースエンジニアリング, 13 構造化分析/設計, 14 ソフトウェアアーキテクチャ, 99 その他 ()
	02 テスト・保守・管理	01 プログラムのテスト・デバッグ, 02 プログラム検証, 03 仕様検証, 04 レビュー/インスペクション, 05 性能評価, 06 プログラム解析, 07 保守運用管理, 08 メトリクス, 09 版管理, 10 構成管理, 11 プロジェクト管理, 12 見積もり, 13 プログラムの複雑度, 14 リスク管理, 15 コスト管理, 16 ソフトウェア工場, 99 その他 ()
	03 ソフトウェアプロセス	01 プロセスモデル, 02 プロセスプログラミング, 03 工程管理, 04 プロセス成熟度モデル, 05 標準化, 99 その他 ()
	04 開発環境	01 構成法, 02 分散開発環境, 03 文書化支援, 04 リポジトリ, 05 SEDB, 06 グループウェア, 07 CASE, 08 プラットフォーム, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目 ()は該当項目のないときに分野名を記入
006 ソフトウェア工学	05 ヒューマンファクタ	01 ヒューマンインタフェース, 02 要員教育, 03 プロジェクト管理, 99 その他 ()
	06 ソフトウェア品質	01 品質保証, 02 品質管理, 03 メトリクス, 04 信頼性予測, 05 品質特性, 06 信頼度成長モデル, 99 その他 ()
007 ハードウェア	01 基礎理論	01 組合せ回路理論, 02 順序回路理論, 03 論理設計理論, 04 レイアウトアルゴリズム, 05 ハードウェアアルゴリズム, 99 その他 ()
	02 論理回路	01 記憶回路, 02 演算回路, 03 制御回路, 04 誤り検出・訂正回路, 05 テスト容易化回路, 99 その他 ()
	03 デバイス	01 論理デバイス, 02 記憶デバイス, 03 入出力デバイス, 04 ASIC, 05 PLD, 99 その他 ()
	04 計算機アーキテクチャ	01 汎用計算機, 02 専用計算機, 03 高級言語マシン, 04 スーパーコンピュータ, 05 ワークステーション, 06 マイクロプロセッサ, 07 連想プロセッサ, 08 非ノーマンアーキテクチャ, 09 フォールトトレランス, 10 リアルタイムシステム, 11 DSP, 12 光コンピュータ, 13 記号処理アーキテクチャ, 14 スーパスカラ, 15 命令セットアーキテクチャ, 99 その他 ()
	05 メモリ・I/Oアーキテクチャ	01 キャッシュ, 02 メモリ階層, 03 仮想メモリ, 04 機能メモリ, 05 分散・共有メモリ, 06 ベクトルレジスタ, 07 磁気ディスク, 08 CD-ROM, 09 拡張記憶, 99 その他 ()
	06 設計技術と設計自動化	01 アーキテクチャ設計支援, 02 ハードウェア／ソフトウェア・コデザイン, 03 設計記述言語, 04 機能合成 (ハイレベル・シンセシス), 05 論理合成, 06 レイアウト, 07 テスト診断法 (テスト生成, 故障診断, テスト容易化設計), 08 形式的検証, 09 機能・論理シミュレーション, 10 回路シミュレーションとモデリング, 11 設計環境 (CAD フレームワーク, 設計データベース管理), 12 テクノロジー・マイグレーション (論理変換, 設計結果再利用), 13 CAD 用ハードウェア・エンジン, 99 その他 ()
008 並列処理	01 並列処理アーキテクチャ	01 超並列マシン, 02 マルチプロセッサ, 03 SIMD マシン, 04 MIMD マシン, 05 データフローマシン, 06 専用並列マシン, 07 ニューロコンピュータ, 08 WS クラスタ, 99 その他 ()
	02 並列処理ハードウェア	01 要素プロセッサ, 02 分散・共有メモリ, 03 プロセッサ間通信・同期, 04 相互結合網, 05 スーパスカラ, 06 VLIW, 07 性能評価, 99 その他 ()
	03 並列処理ソフトウェア	01 並列 OS, 02 並列処理言語, 03 並列化コンパイラ, 04 並列デバッグ, 05 並列化支援ツール, 06 スケジューラ, 07 負荷分散, 08 マッピング, 09 性能評価, 99 その他 ()
	04 並列処理応用	99 その他 ()
009 ネットワーク	01 通信技術	01 データ交換方式, 02 通信方式, 03 画像通信, 04 トラヒック理論, 05 ネットワークアーキテクチャ, 06 プロトコル, 07 プロトコル検証, 08 ISDN, 09 マルチメディア通信, 99 その他 ()
	02 ネットワーク管理	01 名前管理, 02 経路管理, 03 障害管理, 99 その他 ()
	03 コンピュータネットワーク	01 WAN, 02 LAN, 03 電子会議, 04 電子掲示板, 05 電子メール, 06 分散処理, 99 その他 ()
010 システム	01 システム技術	01 システムの計画・分析・設計・構築・運用・利用, 02 システムニーズ・情報ニーズの獲得, 03 情報・データの管理, 04 システムとのインタフェース, 99 その他 ()
	02 グループウェア	01 協調基礎, 02 グループワーク応用, 03 グループワークインフラストラクチャ, 04 分散オフィス, 05 マルチユーザインタフェース, 99 その他 ()
	03 インタフェース	01 インタフェースモデル, 02 ヒューマンインタフェース, 03 計算機システムインタフェース, 04 マルチメディアインタフェース, 05 協調作業のインタフェース, 06 文書処理インタフェース, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目 ()は該当項目のないときに分野名を記入
110 システム	04 対話型システム	01 構成理論, 02 方法論, 03 CAE, 04 CAD, 05 CAM, 06 CIM, 07 CAI, 08 管制システム, 09 訓練システム, 10 意志決定システム, 11 オフィスシステム, 99 その他 ()
	05 オンラインリアルタイムシステム	01 予約システム, 02 バイキングシステム, 99 その他 ()
	06 制御システム	01 プロセス制御, 02 数値制御, 03 通信制御, 04 産業用ロボット, 05 FA, 06 知能ロボット, 07 リアクティブシステム, 99 その他 ()
	07 システム評価	01 評価技法, 02 評価指標, 03 評価モデル, 99 その他 ()
111 信頼性と安全性	01 信頼性	01 信頼性理論, 02 保全性理論, 03 信頼性評価, 04 故障解析, 05 二重系, 06 待機系, 99 その他 ()
	02 機密保護	01 暗号理論, 02 認証, 03 鍵管理, 04 鍵配送, 05 セキュリティ, 99 その他 ()
112 教育	01 教育	01 専門技術者・研究者の育成教育法, 02 情報科学・工学の教育, 03 コンピュータリテラシ, 04 カリキュラム, 05 CAI, 06 知的 CAI, 07 教育工学, 99 その他 ()
113 応用	01 企業等への応用	01 オフィス, 02 行政, 03 経営, 04 金融, 05 情報サービス, 06 生産管理, 07 計算機センタ運営, 99 その他 ()
	02 工学等への応用	01 航空・宇宙, 02 機械, 03 土木, 04 建築, 05 都市, 06 電気・電子, 07 計測, 08 生物, 09 物理, 10 化学, 11 原子力, 12 輸送・交通, 13 医学・歯学, 99 その他 ()
	03 音楽への応用	01 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 02 電子音楽, 03 音楽信号処理, 04 AI と音楽, 05 音楽の認知・知覚・感性情報, 06 音楽情報処理システム, 99 その他 ()
	04 人文科学への応用	01 人文科学・博物館・美術館への情報処理, 02 人文科学系ユーザ向きインタフェース, 03 情報処理と人文科学系間での学術的協力, 99 その他 ()
	05 障害者補助	
	06 その他への応用	
14 その他	01 社会	01 規格, 標準化, 02 知的所有権, 03 社会問題, 04 倫理, 99 その他 ()
	02 その他	

- 2) キーワード表にとらわれず、寄稿内容を表わすキーワードを書いてください。
- (1)

(2)

(3)
- (4)

(5)

1988 年 7 月改訂
1994 年 3 月改訂
1995 年 1 月改訂

著者用情報処理学会論文誌 原稿チェックリスト

・必要事項を記入，選択すること

投稿記事種目		論文・テクニカルノート・誌上討論	
希望審査グループ		基礎・ソフトウェア・ハードウェア・応用	
一般または特集		一般論文・特集号（特集名）	
和文 標題		原稿 図表 アブストラクト 刷上予定枚数	枚 枚 枚 枚
英文 標題			
項目	検討内容（右の判定欄に自分の判定結果を記入すること）		自己判定欄
標題抄録等	第3者（著者以外の人）が目を通してしているか		
	和文標題は内容を適切に表現しているか		
	英文標題は内容を適切に表現し、英語としても適切か		
	アブストラクトは主旨を適切に表現し、英文も適切か		
本文	在来研究との関連，研究の動機，ねらい等が明確に説明されているか		
	既発表の論文等との間に重複はないか		
	章，節のたて方，全体の構成等は適切か		
	説明に冗長な点，逆に簡単すぎる点はないか		
	説明に飛躍した点はないか，仮説等の説明は十分か		
	記号・略号等は周知のものか，用語は適切か，図・表の説明は適当か（本文中および各図・表のキャプション）		
	科学技術論文として不適当な表現や，分かりにくい表現はないか		
	結論が明確に記されており，範囲，限界，問題点などの指摘が適切で，内容にそったものであるか		
図表	図表自体は十分に明確であるか，誤りはないか		
	十分に鮮明か		
	大きさ，縮尺の指定は適切か		
文献	適切な文献が引用されており，その数も適切か		
総合評価	創意の程度（最高を5とした5段階評価）		
	資料価値，読者にとって有益な情報の量（最高を5とした5段階評価）		
	興味を持つ読者の多少（非常に多い場合5，ほとんどないとき1）		

Keywords

(Transactions of Information Processing Society of Japan)

Mark a single circle on keywords that relate to the contents of your paper, mark a double circle on a keyword that you think best describes the contents of your paper. Use others to fill in new keywords if it is difficult to make a reasonable choice from the table.

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
01 Fundamental Theory and Technology	01 Information Mathematics	01 Formal logic, 02 Automata, 03 Formal languages, 04 Theory of computation, 05 Complexity theory, 06 Graph theory, 07 Combinatorics, 08 Coding theory, 09 Information theory, 10 Petri net, 99 Others ()
	02 Nonlinear Dynamics	01 Chaos, 02 Fractal, 99 Others ()
	03 Algorithms	01 Discrete algorithms, 02 Data structures, 03 Parallel/distributed algorithms, 04 Probabilistic/randomized algorithms, 05 Approximation algorithms, 06 Computational geometry, 07 Search algorithms, 08 Computational algebra, 09 Learning theory, 10 Formula manipulation, 11 Floating-point operations, 99 Others ()
	04 Operations Research	01 Linear/nonlinear programming, 02 Dynamic programming, 03 Integer programming, 04 Game theory, 05 Queuing theory, 06 Network theory, 99 Others ()
	05 Probability/Statistics	01 Estimation and testing, 02 Probabilistic model, 03 Computation of statistics/probability, 04 Multivariate analysis, 05 Time series analysis, 99 Others ()
	06 Numerical Computation	01 Error analysis, 02 Function evaluation, 03 Interpolation, 04 Linear algebra, 05 Nonlinear equations, 06 Eigenvalue problem, 07 Numerical differentiation, 08 Numerical integration, 09 Differential equations, 10 Partial differential equations, 11 Integral equations, 12 Extremal problem, 13 Special function, 14 Random numbers, 99 Others ()
	07 Numerical Simulation	01 Finite element method, 02 Finite difference method, 03 Boundary element method, 04 Monte-carlo method, 05 Particle simulation, 06 Visualization, 99 Others ()
	08 High Performance Computing	01 Parallelization, 02 Vectorization, 03 Performance evaluation, 99 Others ()
02 Artificial Intelligence and Cognitive Science	01 Knowledge Processing	01 Search, 02 Automated theorem proving, 03 Inference methods, 04 Knowledge representation, 05 Knowledge acquisition, 06 Knowledge base, 07 Non-monotonic logic, 08 Fuzzy reasoning, 09 Computation with uncertainty, 10 Learning, 11 Understanding and cognitive theory, 12 Distributed and collaborative/cooperative artificial intelligence, 99 Others ()
	02 Artificial Intelligence System	01 Expert system, 02 Expert system development tools, 03 Game program, 04 Intelligent robot, 05 Intelligent interface, 99 Others ()
	03 Natural Language Processing	01 Machine translation, 02 Morphological analysis, 03 Syntactic analysis, 04 Semantic analysis, 05 Sentence generation, 06 Discourse understanding, 07 Grammar, 08 Dictionary, 09 Linguistic theory, 10 Speech act theory, 11 Linguistic data and statistics, 12 Language database, 13 Contextual analysis, 14 Knowledge representation, 99 Others ()
	04 Biological Information Processing	01 Vision, 02 Auditory sense, 03 Neural model, 04 Cybernetics, 05 Self organization, 06 Artificial neural network, 07 Genetic algorithm, 08 Artificial life, 99 Others ()
	05 Kansei Information Processing	01 Psychological model, 02 Behavior model, 03 Emotion model, 04 Human interface, 05 Video image, 06 Music, 99 Others ()
03 Media Information Processing	01 Spoken Language Processing	01 Speech analysis, 02 Interface with spoken language, 03 Speech recognition/understanding, 04 Speech synthesis, text-to-speech, 05 Spoken dialogue/translation, 06 Analysis and generation of spoken language, 07 Speaker/language recognition, 08 Language model, spoken language corpus, 09 Application of speech, 99 Others ()
	02 Image Signal Processing	01 Image quality control, 02 Bandwidth compression, 03 Encoding, 04 Remote sensing, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
003 Media Information Processing	03 Image/Pattern Understanding	01 Scene analysis, 02 Object recognition, 03 Character recognition, 04 Pattern classification, 05 Drawing analysis, 06 Computer vision, 07 Robot vision, 08 Vision model, 09 Shape from X, 10 Range image processing, 11 Color image processing, 12 Image database, 13 Stereo vision, 14 Motion analysis, 99 Others ()
	04 Computer Graphics	01 CG System, 02 CAD/CAM, 03 Modeling, 04 Rendering, 05 Visualization, 06 Animation, 07 Motion, 08 3D vision, 09 Virtual reality, 10 Designing, 11 Image database, 99 Others ()
	05 Document Processing	01 Word processing, 02 Japanese language input/output, 03 Document processing, 04 Desk top publishing, 05 Font design, 06 SGML, 07 Pattern matching algorithm, 99 Others ()
	06 Hardware System	01 Display device, 02 Hard copy device, 03 OCR, 04 Imaging system, 05 Image/video Processor, 06 Speech analyzer/synthesizer, 99 Others ()
	07 Multimedia Processing	01 Multimedia, 02 Hypermedia, 99 Others ()
004 Software	01 Foundation	01 Programming theory, 02 Operating system theory, 03 Formal semantics, 04 Algorithm logic, 05 Verification theory, 06 Category theory, 07 Attribute grammar, 08 Computation paradigm, 09 Program synthesis/transformation, 99 Others ()
	02 Programming Language and Specification Language	01 Procedural language, 02 Logic language, 03 Functional language, 04 Object oriented language, 05 Parallel processing language, 06 System description language, 07 Expression manipulation language, 08 Simulation language, 09 Specification language, 10 Fourth generation language(4GL), 99 Others ()
	03 Language Processing System	01 Syntax analysis, 02 Code generation, 03 Optimization, 04 Compiler, 05 Interpreter, 99 Others ()
	04 Tool	01 Editor, 02 Debugger, 03 Verifier, 04 Compiler generator, 99 Others ()
	05 Window System	01 User interface management system, 99 Others ()
	06 Operating System	01 Memory management, 02 I/O management, 03 Fault/failure management, 04 Communication management, 05 File management, 06 Job/task management, 07 Automatic operation management, 08 Parallel/distributed processing, 09 System management, 10 Exception handling, 11 Performance evaluation, 12 Realtime OS, 13 Multimedia OS, 14 Distributed/parallel OS, 99 Others ()
	07 Programming Method	01 Data structure, 02 Garbage collection, 03 Hashing, 04 Sorting, 05 Searching, 06 Vectorization, 07 Parallelization, 08 Symbol processing, 09 Computational model, 10 Programming process, 11 Programming environment, 12 Programming paradigm, 13 Visual programming, 99 Others ()
005 Database	01 Database	01 Data model, 02 Database language, DBPL, 03 Database design, 04 Integrity constraint, 05 Database management system, 06 Query processing, 07 Transaction management, 08 Database structure (organization, access method), 09 Reliability, fault management, 10 Parallel database, massively parallel database, 11 OLTP, 12 Distributed database, multi-database, 13 Database operating system, 14 Performance evaluation, 15 Multimedia database, 16 Deductive database, 17 Object-oriented database, 18 Office database, 19 Engineering database, 20 Document database, 21 Image database, 22 Audio database, 23 Spatial database, 24 Data dictionary, repository, 25 Database application (system, development environment), 26 Database system technology (data analysis, design, construction, and running), 27 Hypertext, 28 Hypermedia, 29 Database machine, 99 Others ()
	02 Fundamentals of Informatics	01 Representation, identification, classification, retrieval, distribution and management of information, 02 Ontology, 03 Terminology, 04 Dictionary, 05 Thesaurus, 06 Knowledge organization of large amount of information, 07 Knowledge discovery, 08 Self-organization, 09 Full text DB, 10 Document DB, 11 Information retrieval system, 12 Information resource management, 13 Genetic information processing, 14 Library and information science, 99 Others ()
006 Software Engineering	01 Development Methodology	01 Requirements elicitation/analysis, 02 Specification, 03 Design, 04 Programming method, 05 Prototyping, 06 Executable specification, 07 Reuse, 08 Domain analysis/modeling, 09 Program synthesis, 10 OOA/OOD, 11 Algebraic specification, 12 Reverse engineering, 13 Structured analysis/design, 14 Software architecture, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
006 Software Engineering	02 Test, Maintenance, Management	01 Test/debug, 02 Program verification, 03 Specification verification, 04 Review/inspection, 05 Performance evaluation, 06 Program analysis, 07 Maintenance management, 08 Metrics, 09 Version control, 10 Configuration management, 11 Project management, 12 Estimation, 13 Program complexity, 14 Risk management, 15 Cost management, 16 Software factory, 99 Others ()
	03 Software Process	01 Process model, 02 Process programming, 03 Process management, 04 Process maturity model, 05 Process standardization, 99 Others ()
	04 Development Environment	01 Architecture, 02 Distributed environment, 03 Documentation support, 04 Repository, 05 SEDB, 06 Groupware, 07 CASE, 08 Platform, 99 Others ()
	05 Human Factor	01 Human interface, 02 Education/training, 03 Project management, 99 Others ()
	06 Software Quality	01 Quality assurance, 02 Quality control, 03 Metrics, 04 Reliability estimation, 05 Quality parameter, 06 Reliability model, 99 Others ()
007 Hardware	01 Fundamental Theory	01 Combinatorial circuit theory, 02 Sequential circuit theory, 03 Logic design theory, 04 Layout algorithm, 05 Hardware algorithm, 99 Others ()
	02 Logic Circuits	01 Memory circuit, 02 Arithmetic circuit, 03 Controller, 04 Error detection/correction, 05 Testability circuit, 99 Others ()
	03 Devices	01 Logic device, 02 Memory device, 03 Input/output device, 04 ASIC, 05 PLD, 99 Others ()
	04 Computer Architecture	01 General purpose computer, 02 Special purpose computer, 03 High level language machine, 04 Supercomputer, 05 Workstation, 06 Microprocessor, 07 Associative processor, 08 Non von Neumann architecture, 09 Fault tolerance, 10 Real time system, 11 DSP, 12 Optical computer, 13 Symbol processing machine, 14 Superscalar, 15 Instruction set architecture, 99 Others ()
	05 Memory and Peripheral	01 Cache, 02 Memory hierarchy, 03 Virtual memory, 04 Functional memory, 05 Distributed/shared memory, 06 Vector register, 07 Disk, 08 CD-ROM, 09 Extensional storage, 99 Others ()
	06 Design Methodology/Automation	01 Architecture design support, 02 Hardware/software co-design, 03 Hardware description language, 04 High level synthesis, 05 Logic synthesis, 06 Layout, 07 Design and testability (test pattern generation, fault diagnosis, design for testability), 08 Formal verification, 09 Functional and logic simulation, 10 Modeling and circuit simulation, 11 Design environment (CAD framework, design data management), 12 Technology migration (logic transformation, resynthesis), 13 Hardware engine, 99 Others ()
008 Parallel Processing	01 Parallel Computers	01 Massively parallel computer, 02 Multiprocessor, 03 SIMD computer, 04 MIMD computer, 05 Dataflow computer, 06 Special purpose parallel computer, 07 Neuro-computer, 08 Workstation cluster, 99 Others ()
	02 Hardware Architecture	01 Processing element, 02 Distributed/shared memory, 03 Interprocessor communication and synchronization, 04 Network, 05 Superscalar, 06 VLIW, 07 Performance evaluation, 99 Others ()
	03 Software	01 Parallel operating system, 02 Parallel languages, 03 Parallelizing compiler, 04 Parallel debugger, 05 Parallel programming tools, 06 Scheduler, 07 Load balancing, 08 Mapping, 09 Performance evaluation, 99 Others ()
	04 Applications	99 Others ()
009 Network	01 Communication Technologies	01 Data switching, 02 Communication principles, 03 Visual communication, 04 Traffic theory, 05 Network architecture, 06 Protocol, 07 Protocol validation, 08 Integrated services digital network (ISDN), 09 Multimedia communication, 99 Others ()
	02 Network Management	01 Naming, 02 Routing, 03 Failure management, 99 Others ()
	03 Computer Network	01 Wide area network (WAN), 02 Local area network (LAN), 03 Teleconference, 04 Bulletin board system, 05 Electronic mail, 06 Distributed processing, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
010 System	01 System Methodology	01 System planning, analysis, design, implementation, operation, usage, 02 System needs elicitation, 03 Information/data management, 04 System interface, 99 Others ()
	02 Groupware	01 Concurrent engineering, 02 Group work application, 03 Group work infrastructure, 04 Distributed office, 05 Multi-user interface, 99 Others ()
	03 Interface	01 Interface model, 02 Human interface, 03 Machine interface, 04 Multi-media interface, 05 Concurrent engineering interface, 06 Documentation interface, 99 Others ()
	04 Interactive System	01 Architecture, 02 Principle, 03 CAE, 04 CAD, 05 CAM, 06 CIM, 07 CAI, 08 Monitoring system, 09 Training system, 10 Decision support system, 11 Office system, 99 Others ()
	05 Online Realtime System	01 Reservation system, 02 Banking system, 99 Others ()
	06 Control System	01 Process control, 02 Numerical control, 03 Communication control, 04 Industrial robot, 05 FA, 06 Intelligent robot, 07 Reactive system, 99 Others ()
	07 System Evaluation	01 Evaluation method, 02 Metrics, 03 Evaluation model, 99 Others ()
011 Reliability and Security	01 Reliability	01 Reliability theory, 02 Maintainability, 03 Reliability evaluation, 04 Fault analysis, 05 Dual system, 06 Duplex/stand-by system, 99 Others ()
	02 Information Security	01 Cryptography, 02 Authentication, 03 Key management, 04 Key distribution, 05 Security, 99 Others ()
012 Education	01 Education	01 Training of professional engineers and researchers, 02 Education of computer science and engineering, 03 Computer literacy, 04 Curriculum, 05 CAI, 06 ICAI, 07 Educational technology, 99 Others ()
013 Applications	01 Applications to Enterprises	01 Office, 02 Public administration, 03 Business administration, 04 Finance, 05 Information services, 06 Production control, 07 Administration of computing facilities, 99 Others ()
	02 Applications to Engineering and Science	01 Aviation and aerospace, 02 Mechanical engineering, 03 Civil engineering, 04 Architecture, 05 Urban engineering, 06 Electrical engineering and electronics, 07 Measurement, 08 Biology, 09 Physics, 10 Chemistry, 11 Atomic energy, 12 Transportation, 13 Medicine and dentistry, 99 Others ()
	03 Applications to Music	01 Composition, arrangement, performance and accompaniment, 02 Electronic instruments, 03 Music signal processing, 04 Music and artificial intelligence, 05 Cognitive, perceptive and sensitive information of music, 06 Music information processing system, 99 Others ()
	04 Applications to Humanities	01 Information processing of humanities, museum and art gallery, 02 User interface of humanity applications, 03 Cooperation between humanities and informatics, 99 Others ()
	05 Application to the Disabled	
	06 Other Applications	
014 Others	01 Society	01 Standards and standardization, 02 Intellectual properties, 03 Social problems, 04 Ethics, 99 Others ()
	02 Others	

When appropriate keywords that describe the contents of your paper are not found, or if there are any keywords more suitable, write them below.

(1) (4)
(2) (5)
(3)

機関誌に掲載された論文等の著作権

3.1 著作権の帰属

- (1) 機関誌に掲載された論文等（以下論文等という）の著作権は原則として本学会に帰属する。
- (2) 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議のうえ措置する。なお特別な事情としては次のような例を想定する。
 - ・依頼論文等であって、その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので、著作権の本学会への移転帰属に關し当該法人等の了解が得られない場合。
 - ・特別講演記事などで著者の了解が得られない場合。

3.2 著作権の本学会への移転帰属による運用効果および運用上の措置等

- (1) 論文等の著作権は本学会に帰属するが、著作者人格権は著者に帰属する。ただし、著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに対し、本学会はこれに異議申立て、もしくは妨げることをしない。この場合著者は本学会に申し出を行い、また利用された複製物あるいは著作物中に出典を明記すること。

- (2) 本学会は論文等の複製を行うことができる。ただしこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (3) 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合、本学会理事会において審議し、適当と認めたものについて要望に応ずることができる。ただしこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (4) 前項の措置によって、第三者から本学会に対価の支払があった場合には関係する著者に報告のうえ、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

3.3 著作権侵害等に関する注意事項

- (1) 執筆に当たっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (2) 著者は公表された著作物を引用することができる。引用した場合はその出典を明示すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う。

付 録 1

定 期 刊 行 物 の 省 略 記 法

(ISO 4, ISO 833 による)

誌 名	省 略 記 法
ACLS Newsletter	ACLS Newsl.
ACM Transactions on Database Systems	ACM Trans.Database Syst.
ACM Transactions on Mathematical Software	ACM Trans.Math. Softw.
ACM Transactions on Programming Languages and Systems	ACM Trans.Prog.Lang.Syst.
Acta Informatica	Acta Inf.
AEDS Journal	AEDS J.
AEDS Monitor	AEDS Monit.
ALGOL Bulletin	ALGOL Bull.
American Journal of Computational Linguistics	Am.J.Comput.Linguist.
American Scientist	Am.Sci.
Annals	Ann.
The Annals of the American Academy of Political and Social Science	Annals AAPSS.
Applied Mathematics and Computation	Appl.Math.Comput.
Artificial Intelligence	Artif.Intell.
Association for Linguistic Computing-Bulletin	Assoc.Lit.Linguist.Comput.Bull.
The Australian Computer Journal	Aust.Comput.J.
Bell Systems Technical Journal	Bell Syst.Tech.J.
bit	bit
Communication of the ACM	Comm.ACM
Computer	Computer
Computer Aided Design	Comput.Aided Des.
Computer Bulletin	Comput.Bull.
Computer Design	Comput.Des.
Computer Educator	Comput.Educ.
Computer Graphics and Art	Comput.Gr.Art
Computer Vision Graphics and Image Processing	Comput.Gr.Image Process.
Computer Graphics Newsletter	Comput.Gr.Newsl.

誌 名	略 記 法
Computer Journal	Comput.J.
Computer Languages	Computer Lang.
Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering	Comput.Methods in Appl.Mech.Eng.
Computers and Biomedical Research	Comput.Biomed.Res.
Computers & Graphics	Comput.Gr.
Computers and Humanities	Comput.Hum.
Computing	Computing
Computing Newsletter	Comput.Newsl.
Computing Surveys	Comput.Surv.
Datamation	Datamation
Education Technology	Educ. Tech.
Engineering and Instrumentation	Eng. Instrum.
IBM Journal of Research and Development	IBM J.Res.Dev.
IBM Systems Journal	IBM Syst.J.
IEEE Spectrum	IEEE Spectrum
IEEE Transactions on Computers	IEEE on Trans.Comput.
IEEE Transactions on Software Engineering	IEEE Trans.Softw.Eng.
Industrial Engineering	Ind. Eng.
Information and Control	Inf.Control
Information Processing and Management	Inf.Process.Manage.
Information Processing Letters	Inf.Process.Lett.
Information Science	Inf.Sci
The Information Scientist	The Inf.Sci.
Information System	Inf.Syst.
Instrumentation Technology	Instrum. Technol.
International Journal of Bio-Medical Computing	Int.J.Bio-Med.Comput.
International Journal of Computer and Information Sciences	Int.J.Comput.Inf.Sci.
International Journal of Computer and Mathematics	Int.J.Comput.Math.
International Journal of General Systems	Int.J.General Syst.
International Journal of Man-Machine Studies	Int.J.Man-Mach.Stud.
Journal of the ACM	J.ACM
Journal of the American Society for Information Sciences	J.Am.Soc.Inf.Sci.
Journal of the American Statistical Association	J.Am.Stat.Assoc.
Journal of Chemical Information & Computer Sciences	J.Chem.Inf.Comput.Sci.
Journal of Clinical Computing	J.Clin. Comput.
Journal of Computational Physics	J.Comput.Phys.
Journal of Computer and System Sciences	J.Comput.Syst.Sci.
Journal of Cybernetics and Information Sciences	J.Cybern.Inf.Sci.
Journal of the Franklin Institute	J.Franklin Inst.
Journal of Symbolic Logic	J.Symbolic Logic
Journal of Systems Management	J.Syst.Manage.
Law and Computer Technology	Law Comput.Technol.
Management Information Systems Quarterly	Manage.Inf.Syst.Q
Management Science	Manage.Sci.
Mathematical Programming	Math.Program.
Mini-Micro Systems	Mini-Micro Syst.
Nachrichtentechnische Zeitschrift	Nachrichtentech.Z.
Operations Research	Oper.Res.
Pattern Recognition	Pattern Recogn.
Popular Computing	Pop.Comput.
Proceedings of the IEEE	Proc.IEEE
Proceedings of the SID	Proc.SID
Science	Science

誌名	略記法
Scientific American	Sci.Am.
SIAM Journal on Applied Mathematics	SIAM J.Appl.Math.
SIAM Journal on Computing	SIAM J.Comput.
SIAM Journal on Control	SIAM J.Control
SIAM Journal on Mathematical Analysis	SIAM J.Math.Anal.
SIAM Journal on Numerical Analysis	SIAM J.Num.Anal
SIAM Review	SIAM Rev.
SID Journal	SID J.
Simulation	Simulation
Software-Practice & Experience	Softw.Pract.Exper.
Soviet Cybernetics Review	Sov.Cybern.Rev.
Theoretical Computer Science	Theor.Comput.Sci.

注) 一般的に会議論文集は次のように略記する． Proc.** th 会議名 開催年 （例）Proc. 8th IJCAI 1990

付 録 2

情 報 処 理 学 会 関 連 の 英 文 表 記 お よ び 略 記	
誌名	省 略 記 法
情報処理学会	IPS Japan
(Information Processing Society of Japan)	
学会誌「情報処理」	J.IPS Japan
(Journal of Information Processing Society of Japan)	
論文誌	Trans.IPS.Japan
(Transactions of Information Processing Society of Japan)	
旧欧文誌	J.Inf.Process.
(Journal of Information Processing)	
旧英文誌	
(Information Processing in Japan)	
全国大会	
(The**th Annual Convention IPS Japan)	
全国大会論文集	Proc.**th Annual Convention IPS Japan
(Proceedings of the **th Annual Convention IPS Japan)	
研究報告	IPSJ SIG Notes
(The Special Interest Group Notes of IPSJ)	
功績賞	
(IPSJ Contribution Award)	
論文賞	
(IPSJ Best Paper Award)	
研究賞，山下記念賞	
(IPSJ SIG Research Award)	
奨励賞	
(IPSJ Convention Award)	
情報処理学会 30 年のあゆみ－活動の軌跡と技術展望	
(IPSJ and Its 30years-Review of Its Activities and Technical Perspective)	

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です．

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金
論 文 募 集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワーク ショップ，講演会，講習会等の論 文募集・参加者募集に限る．	1 ページ または 1 / 2 ページ	(共催) 1 ページ 50,000 円 1 / 2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援) 1 ページ 100,000 円 1 / 2 ページ 50,000 円
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機 関，賛助会員の人材募集	10 行程度	(国公立教育機関，国公立研究機関) 20,000 円 (賛助会員（企業）) 30,000 円

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

3. 原稿の書き方

行事次第書：原則として B5 判カメラレディとします．B5 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください．なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本会会告記載内容をご参照願います．なお，フロッピーディスクまたは e-mail でも受け付けますので，ご相談ください．

人 材 募 集：求人側の必要事項を明記し，e-mail または FAX，郵送にてお送りください．

4. 申込期限

毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します．

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください．

6. 掲載申込先

〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

(社) 情報処理学会 有料会告係

e-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534